平成27年度

事業報告並びに決算報告書

北海道ラグビーフットボール協会

目　　次

○平成27年度　事業報告 …… 1

Ⅰ 登　録　状　況 …… 1

Ⅱ　理事会等の開催状況・各委員会活動報告 …… 3

第70回国民体育大会北海道選手団 …… 30

平成27年度　大学ベストフィフティーン …… 31

Ⅲ　試合並びに大会結果 …… 32

A　北海道協会主管による大会 …… 32

B　中央大会、本大会及び他県にわたる試合 …… 53

○平成27年度　会計決算書 …… 59

◎ 収 入 の 部 …… 60

◎ 支 出 の 部 …… 62

◎ 会計監査報告書 …… 85

北海道ラグビーフットボール協会

平成27年度　事業報告

Ⅰ　登録状況

(1)　会員数

平成28年３月31日現在

チーム種別	チーム数	前年比	部員数	前年比
スクール	13	▲1	490	56
中学校	4	1	86	▲12
高等学校	37	▲6	907	▲10
高等専門学校	2	0	50	1
大学	20	▲1	546	▲54
社会人	7	▲2	177	▲57
学生クラブ	1	0	4	1
大学OB	1	0	23	1
高校OB	2	0	17	▲4
一般クラブ	33	0	1,152	▲2
ジュニアクラブ	0	0	0	0
女子クラブ	2	0	28	8
合計	122	▲9	3,480	▲72

(2)　チーム数

チーム種別／支部	スクール		中学		高校		高専		大学		社会人		学生ｸﾗﾌﾞ		大学OB		高校OB		一般ｸﾗﾌﾞ		ｼﾞｭﾆｱｸﾗﾌﾞ		女子ｸﾗﾌﾞ		計	
	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比	チーム数	前年比
函館	1	0	1	0	7	▲2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	▲1	0	0	0	0	16	▲3
胆振	0	0	0	0	0	▲1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	▲1
小樽	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7	0
札幌	4	▲1	3	1	10	▲1	0	0	12	0	4	0	0	0	1	0	1	0	11	0	0	0	2	0	48	▲1
空知	1	0	0	0	1	▲1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	▲1
富良野	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
旭川	1	0	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	13	0
十勝	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	8	0
根釧	1	0	0	0	3	▲1	0	0	2	0	0	▲1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	9	▲2
北見	3	0	0	0	6	0	0	0	1	▲1	0	▲1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	13	▲1
計	13	▲1	4	1	37	▲6	2	0	20	▲1	7	▲2	1	0	1	0	2	0	33	0	0	0	2	0	122	▲9

Ⅱ　理事会等の開催状況

◎　第１回理事会
平成２８年１月３１日(日)　開発工営社会議室
議　題
平成２７年度事業報告について
平成２７年度会計状況について
平成２８度事業予算について
平成２８年度事業計画について
その他

◎　第2回理事会
平成２８年３月２０日(日)　開発工営社会議室
議　題
平成２７年度事業報告について
平成２７年度会計状況について
平成２８年度事業予算について
平成２８年度事業計画について
その他

◎　第3回理事会　　◎第１回評議員会
平成２８年４月２４日(日)　開発工営社会議室
議　題
平成２７年度事業報告について
平成２７年度会計状況について
平成２８年度事業予算について
平成２８年度事業計画について
その他

平成27年度　各委員会活動報告書

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
セレクションコミッティー・強化委員会	**＜道外大会＞** 1　第７０回国民体育大会 和歌山県国体（セブンズ） ・日程：１０月３日～４日 ・会場：和歌山県串本町 サン・ナンタンランド多目的グランド ・10/3　vs茨木県　26-29 Vs福井県　19-35 Vs和歌山県　7-33	**＜成果＞** 成年の国体はセブンズに変わり３年目を迎えた。初戦の茨木に勝利できなかったのが非常に残念である。初戦を落としたことでリズムに乗れず昨年同様３戦全敗の結果であった。 **＜課題＞** 勝機は十分にあると考えるがセブンズで勝利することは、非常に難しい。 ゲームにおける精度が必要である。 ７分ハーフでの時間の使い方についても工夫とチーム全員の理解度の落とし込みが必要である。
	＜道内事業＞	
	＜セレコン・強化・普及へ向けた事業＞ 1　セレコン強化委員会 ・日程：４月１２日（土） １４：００～ ・会場：JRタワーオフィス会議室	**＜成果＞** 社会人、大学のカテゴリーのﾒﾝﾊﾞｰにより事業計画について話を行った。 大学委員会から大学セブンズへ代表候補を参加させ、セブンズでの試合経験を積む機会を増やす案が提案された。 **＜課題＞** 継続的に意見情報交換が必要。
	2　セブンズミーティング ・日程：５月１７日（日） １０：３０～ ・会場：定山渓BBクラブハウス	**＜成果＞** ７人制での戦い方とセレクト及びスケジュールの確認を行った。 意思の確認ができた。 **＜課題＞** 継続的な意見の交換と各地域での選手発掘が課題。 各地域でのｾﾌﾞﾝｽﾞ大会の開催。
	3　代表候補セレクションマッチ開催 ・日程：５月１７日（日） １３：００KO ・会場：定山渓BBラグビー場	**＜成果＞** 新しい選手の発掘が出来た点。 **＜課題＞** 年間スケジュールがタイトになり、５月実施のアナウンスを早めに行い、地方から多くの選手が参加できるよう、交通費の補助などが必要。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
セレクションコミッティー・強化委員会	4　7S強化：ピリカモシリ ・日程：７月１２日（土） １３日（日） ・会場：定山渓BBラグビー場	**＜成果＞** 新しく戦力の強化につながる選手の発掘がきた。大卒新人なども参加したことが大きな成果であった。 **＜課題＞** ７人制の選手発掘と強化に向けたゲームの実践経験が不足している点が課題である。
	5　国体強化試合　大学セブンズ参加 ・日程：7月26日10：00～ ・会場：月寒ラグビー場	**＜成果＞** 国体へ向けたセブンズでのゲームが出来た点、大学選手を見る機会を得た点が成果であった。 **＜課題＞** 遠距離の選手に金銭的な負担がかかっている点。代表候補のエレクションポリシー及び代表候補スコッドの HP へのアップを試みたことが全体としての成果でした。
		＜成果＞ ７‘S セッションでの北海道代表候補選手が集まり基本的な戦略を確認落とし込みが出来た点、ゲームにより国体へ向けた最終準備が出来た点は大きな成果であった。 **＜課題＞** 道内選手のみでの強化には限界がある。高いレベルでの実践を数多く経験する機会が必要である。
レフリー委員会	1　レフリーソサエティ会議 ① 4月26日(日) ② 6月19日(金) ③ 1月9日（土）	・1 月 9 日（土）に成果や課題等の検証を兼ねた委員会の開催を実施した。
	2　レフリー研修会 ① 6月6日・7日（札幌） 全国高校7人制大会 北海道予選会 全国U18合同大会北海道予選会	・第 1 回研修を高校セブンス、U18 合同大会予選会に合わせて実施し、セブンスのレフリング中心に研修を行った。
	② 6月19日～21日、7月5日 （野幌他）北海道選手権大会	・研修会全般としては、概ね目的を達成して終えることが出来た。
	③ 7月25日～30日（江別他） 北海道高校選抜大会	・継続したレフリー評価のため強化レフリーに対してアセッサーを割り付けすることとした。また、その評価表を集約し他のアセッサーが参考にできるような体制を整えた。また、レフリング映像をサイ
	④ 1月9日～10日（札幌） ＮＴＴセミナーセンター	

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
レフリー委員会		トにアップしそのレフリーに対するコメントを送信する体制を整えた。次年度、積極的な有効活用を図ることとした。
	3　C級レフリー認定講習会 各地区毎に実施。	・北海道選手権大会の監督主将会議の時にルーリング通達の説明を行った。
	4　ルール伝達講習会	・大会が集中し試合数が多いこと、かつ、平日に実施されることもあることからレフリー割当が困難な場合がある。
	5　各種大会へのレフリー派遣 大会主管理事からの要請に基づき必要人数を派遣。	・実働B級レフリーや若手レフリーの絶対数不足、北海道内トップレフリーの高齢化が継続的な課題である。
	6　その他 ・主なレフリーのスケジュール確認と調整。	・今年度２名の候補者を出すことができ、資格取得した。
	・ゲーム担当後のレフリーミーティングの実施。	・資質のある有望レフリーの発掘育成が課題である。 各チームでのレフリー育成協力をお願いしたい。
競技委員会	**第４５回北海道ラグビーフットボール選手権大会** 平成２７年6月１９日（金）・6月２０日(土)・２２日（日）・7月５日(日) 北海道立野幌総合運動公園ラグビー場１面 千歳青葉公園ラグビー場１面 苫小牧市緑ヶ丘公園ラグビー場２面 バーバリアンズ定山渓グラウンド２面	**＜成果＞** **1.競技面** Aブロック決勝は北海道バーバリアンズAと北菱クラブA（３６対２６），北海道大学（３６対２４）に対し快勝して第２８回大会(１９９７年)以来、１８年ぶりに決勝戦に勝ち上がった道都ラガーとの対戦となった。試合展開は、前半から北海道バーバリアンズが地力を発揮し試合の主導権を握りノートライの４５対０で前半をリード、後半道都大学が１トライを返したが９７対８で７年連続１９回目の優勝をした。 Bブロック決勝は前年Aブロック降格したチーム同士の対戦となりＪＲ北海道がサッテツクラブを終始リードし５１対２２で下し、Aブロック昇格を勝利で決めた。今年度Bブロック昇格を決め準決勝でＪＲ北海道に挑戦した小樽商科大学は３２対４８（前半１４対２２、後半１９対２６）と健闘し来年度以降が期待される。 Cブロックの決勝はウィングスとWARRIORSとなり、千歳市を地盤とするチーム同士の対決になったが、２４対２４と仲良く引き分けた。 大学では北海道大学、札幌大学、道都大学が安定した

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
競技委員会		チーム力を発揮し、道都大学は決勝戦、他２大学も準決勝に駒を進めた。Ｂブロックの小樽商科大学も優勝したＪＲ北海道に食い下がる健闘ぶりを見せた。Ｄブロックは優勝したＢＵＬＬＤＯＧＳ、ウィンズ以外、６チームが大学であり、激しい素晴らしい戦いをした。古豪の北海学園大学の健闘も光った。 クラブは地域を代表する函館支部の上磯ラガー、十勝支部のとかチェス、北広島のＣＯＬＬＥＧＥ･ＨＯＵＳＥがいずれも大学チームに敗退し、精彩を欠いたが、北見支部のＯＫＨＯＴＳＫ･ＢＬＵＥ　Ａ、札幌支部の、サッテツクラブは健闘した。各クラブとも２チーム目を作り始め、生涯スポーツとして位置付けて活動するクラブが増えてきており、その傘下にジュニア組織が育つことが出来始めるとラグビー人口の底辺の拡大につながることが予想される。現在、函館、帯広、旭川、北見、札幌のジュニア組織の充実につなげていただきたい。 **２．運営面** ① グラウンド運営 今年度は野幌グラウンドの状態が両面とも良くなく、１回戦、準決勝は一面の使用で苫小牧緑ヶ丘グラウンドを２面使用した。また、決勝戦は、定山渓グラウンドを２面使用することで対応した。 ② ブロック別グラウンド割り付け効果 野幌グラウンドが使用できなかったが、各委員会の協力でブロック別に割り付けることが出来運営は円滑に行われた。 ③ 安全対策 今年度は医務委員会の全面的協力で全グラウンドに配置することが出来、大きな事故なく終了した。 ④ 芝生グラウンドにおいての全試合実施 野幌グラウンドの養生状態が悪く苫小牧緑ヶ丘グラウンドを使用することで全試合芝生のグラウンドで実施した。 **＜課題と対策＞** ① チーム数 今年度の参加チームは岩見沢ＲＦＣの欠場があったが、札幌有惑クラブＢの新規出場があり、昨年度同様６８チームで実施した。５年前７７チームからすると大幅な減少になっているが、チームの合併・合同化を行い組織

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
競技委員会		強化、競技力強化を図るチームがあるとともに組織内においてチーム複数化を図りラグビー競技の生涯スポーツ化に取り組むクラブも増えてきている。複数チーム化に取り組んでいるクラブにはジュニア育成に取り組んでいただき、競技人口の増加に取り組んでいただきたい。 ② 日程 今年度は招待試合の関係で１週前倒しで実施したが各委員会、各支部の協力で問題なく運営出来た。来年度は例年通り６月最終週で実施したい。 ③ グラウンド 今年度は野幌グラウンドの養生が悪く１回戦、２回戦は1 面しか使えず決勝戦は定山渓グラウンドで実施した。管理事務所側と交渉を続けているが、２面使用の目途が立っていない。来年度も２面使用が出来ない場合は定山渓グラウンドで決勝戦を行うことを検討したい。来年度も野幌グラウンドが１面しか使用できない場合は、今年度同様に小牧緑ヶ丘グラウンド２面を使用することを検討したい。 ④ 競技時間 社会人、クラブ、大学と本州での大会、また、インカレの上位ブロックも４０分ハーフであり、チーム減少により競技時間もできており、強化の側面からもＤブロック以上の上位ブロックの競技時間は４０分にすべきと思料する。 ⑤ 帯同レフリー制度及び１試合２レフリーの是正 レフリーの高齢化も進行してきている。大学委員会、社会人クラブ委員会にレフリー養成をお願いしたい。ここ数年、帯同レフリーの義務付けについて各チームの意識が薄れてきている傾向がみられる。各支部において４月、５月時点のチーム登録の際にレフリーの帯同化の説明をお願いしたい。 ⑥ 安全対策 ここ数年のチーム登録時の安全講習会の開催により事故予防に対する関心は高くなっているが、高校時からマウスガード装着の義務化等マウスガード装着の向上につながる対策が必要とされている。 ⑦ 事業費 総予算は昨年度から過去最低のチーム数となり大会参加料 204 万円、広告費 12 万円で昨年に引き続き過去最低予算となった。経費節約を行い昨年より 12 万円ほど

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
競技委員会		少ない経費で終了することが出来た。北海道協会事業費として繰り入れる金額は1.129.070円となった。 22年度事業決算・予算　1.484.359/2.630.000＝1.145.641 23年度事業決算・予算　1.239.900/2.459.580＝1.219.680 24年度事業決算・予算　1.115.261/2.339.580＝1.224.319 25年度事業決算・予算　1.127.877/2.220.000＝1.092.123 26年度事業決算・予算　1.182.524/2.190.000＝1.007.476 27年度事業決算・予算　1.030.930/2.160.000＝1.129.070
安全対策委員会・コーチソサエティー	**安全対策委員会** **安全対策推進講習会開催報告** **２０１５テーマ** 「チーム内における安全対策について」 医学関連 ・指導者が安全対策に積極的に取り組むには（既存の教育ソフトの活用） 技術関連 ・Rugby Readyの確認 ・教材「ラグビーのための準備２０１４」 ・安推講習会DVD ２００８～２０１２ ・ラグビー外傷・障害対応ﾏﾆｭｱﾙ 担架搬送講習会 ・意識消失を伴う頭部外傷または頸椎損傷が疑われる選手の搬送について（WR lmmediate care in Rugbyより） **脳震盪の疑いがあるアスリートがいたらフィールドから出し､戻してはいけません！** 各支部開催日程及び受講者数（２３１名） ３月２１日十勝 講師　増谷龍大氏　新　智文氏 受講者数２８名 ４月　４　日　根釧 講師　増谷和夫氏 受講者数１８名 ４月　４　日　札幌・胆振・小樽 講師　長谷川竜介氏　森和久氏・道家氏 受講者数７４名 ４月　５　日　函館 講師　三浦栄司氏　額賀康之氏 受講者数４１名	**■安全対策推進講習会について** 受講者アンケート集計 １．事前講習について ①指導者として必要である　94% ②必要でないと感じた　0.4% ③どちらともいえない　5.3% ２．医学関連トピックについて ①分かりやすかった　82.6% ②少し難しい　17.4% ③難しくて指導現場では使えない　0% ３．ワークショップ内容について ①適切である　96% ②他のテーマの方がよい　2% ③意味を感じない　2% ４．講習会後のチーム内での意識向上に向けて ①かなり意識したい　85.9% ②適度に意識する　13.6% ③あまりおだわらない　0.5% ※２０１５チーム伝達報告集計 Rugby Readyの利用により例年より報告率が比較すれば高かった。 受講者アンケートでは、94%の人が講習会が必要であると回答しており必要性は理解してもらっている。 登録指導者の伝達割合　96% 登録選手の伝達割合　86.5% その他マネージャー等　82.3% **【報告】安全対策講習会内容の伝達** ８６チームの報告 脳震盪についてDVDを見せた　42% 脳震盪と安全対策について話した　76% ラックにおける指導法の工夫とDVDをみせた 27% ラックにおける重傷事故と安全対策について話した 71%

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
安全対策委員会・コーチソサエティー	４月１８日　旭川・富良野・空知 講師　増谷龍大　　辻　宗啓氏 受講者数４０名 ４月１３日北見 講師　山内博史氏　荻原尚志氏 受講者数３０名 ４月１３日札幌・胆振・小樽 **セーフティーアシスタント資格取得講習会**（新規に認定書が変更になった） 安全対策講習時にSA講習会指導書通り３回実施した。（北見･旭川･札幌） 登録者６５名 （認定書及び手帳配布４年間有効） **新スタートコーチ資格取得講習会** 期日　平成２７年５月３０日（日） 会場　旭川市　旭川工業高等学校 講師　増谷和夫 氏 受講生　２６名 **新スタートコーチブラッシュアップ（資格更新事業）** 期日　平成２８年１月３０/３１日（土・日） 会場　札幌市　定山渓錦渓 講師　西山淳哉氏　日本ＩＢＭ 講師　島本則道氏　スポーツドクター 講師　小松信隆氏　管理栄養士 講師　白方久弘氏　普及委員長 講師　小柴大地氏　u15 ヘルドコーチ **タックルプロジェクト事業** 高校については、１０支部の各高校委員に「2013DVD」を配布済み事から各自チームで継続的に取り組む。 ・コーチ招聘事業報告 期日　2015 年 6 月 13 日～ 14 日 会場　北海道バーバリアンズ定山渓G 対象　中学生 1 年生～ 3 年生 招聘コーチ 関東強化コーチ梅月信吾 氏	タックルスキルについてDVDを見せた　29% タックルスキルについて話した　70% 体幹トレーニングについてDVDを見せた　29% 体幹トレーニングと安全対策について話した 57% 熱中症について話した　69% スタートコーチ講習会は旭工ラグビーの協力で３０度の暑い中受講生は、熱心に講習を受けていた。 普及指導委員会とコーチ研修会と連携して実施 ■広い北海道において各チームが、統一意識を持った指導体制の確立を目指し、U１５を含めその上のカテゴリーまでの一環指導体制を構築し、２０１９ワールドカップ２０２０オリンピックの成功に向けてジュニアー強化。 ■昨年の継続と言う事で梅月コーチの指導を頂いた。地域差を埋める力になり新しい指導法や指導のヒントをもらい道内指導者から感謝の言葉を頂いている。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
コーチ・安全対策委員会	**コーチ委員会** 第１回コーチ委員会 平成２７年７月７日（日） 会場ホテル　橋本 Ａ　報告事項 Ｂ　協議事項 Ｃ　その他	■協議 ・安全推進事業･ＳＡ登録制度講習会・来年度も合わせて実施する。 ・日程を各支部早く決めて欲しい。 ・２０１５の強化コーチ推薦者はなし。
普及育成委員会	**【委員会会議】** ●第１回普及育成委員会 期日　平成２７年５月２日(土) 場所　札幌市　生涯学習センターちえりあ ●第２回普及育成委員会 期日　平成２８年３月６日(日) 場所　札幌市　生涯学習センターちえりあ **【各種大会】** ●第３４回北海道スクール中学生大会 ●第２７回北海道スクール小学生大会 期日　9月20(日)･21日(月･祭日) 会場　函館フットボールパーク 参加者　小学生　１０チーム ２７０名 中学生　８チーム ９０名 指導者　１００名 保護者　３００名 札幌ラグビースクール 北海道バーバリアンズＪｒ 小樽ラグビー少年団 函館ラグビースクール 帯広ラグビースクール 旭川ラグビースクール スピリッツオブオホーツク 美幌ラグビー少年団 遠軽ラグビースクール 山の手ラグビースクール	委員会委員構成１８名 （出席委員１１名） 委員会委員構成１８名 （出席委員１３名） **＜成果＞** ①各スクール共、熱心で献身的な指導者と保護者に支えられて継続されている大会として、更なる発展のためにスクール生拡大の必要性を認識した。 ②ミニラグビー（小学生）レフリー研修会を実施し、ルール・レフリングを基にした小学生の指導者へのレベルアップを図った。 **＜課題＞** ①ジュニアにあっては、安全対策を第１と考え１年生と２・３年生カテゴリーを分けて実施した。更にスクール生不足の折、１チームを編成できないスクールも有り、合同チーム編成での対戦となった事も現状では致し方ない。 ②スクール出身者のラグビーへのモチベーションは高く、高校・大学へ進んでも中心選手として活躍している。 北海道ラグビー発展のためには、底辺拡大のためにスクール生の増加とスクール自体の新設も急務となっている。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
普及育成委員会	●第１２回北海道小学生タグラグビー選手権大会 （兼**サントリーカップ**第１２回全国小学生タグラグビー北海道ブロック大会） 期日　２７年1月１１日（月・祝日） 会場　北広島市総合体育館 参加数　１２チーム 選手　　１０３名 帯同コーチ　２４名 優勝 「富良野扇山小学校　ブラックベアーズ」 準優勝 「富良野小学校　へそタグズA」 ３位 「当麻小学校　当麻ＴＲＣ」 ●サントリーカップ 第１２回全国小学生タグラグビー決勝大会 平成２８年２月２０日２１日 会場　味の素スタジアム 富良野支部代表 「富良野扇山小学校　ブラックベアーズ」 旭川支部代表 「当麻小学校　当麻ＴＲＣ」	**＜成果＞** ①９支部からの出場となり、今年も全国大会へ２チームの参加が認められ非常に盛り上がる大会となった。 ②回を重ねるごとに選手のプレーも向上し、フルラグビーとは別の魅力をもったタグラグビーの良さを存分に発揮している。 **＜課題＞** 学習指導要領の例示に採用され、小学校へのアピールを道協会や支部協会との連携で積極的に進め、小学校への指導者講習会の実施を進めていく必要がある。 **※大会規定により、全国大会出場枠は優勝チームと３位チームとなった。** 試合結果： 昨年に引き続き北海道に２チームの出場枠が与えられた。 富良野市扇山小　ブラックベアーズ １日目　プールＡ　０勝３敗 ２日目　シールドトーナメント　２敗 当麻小　ＴＲＣ １日目　プールＤ　１勝２敗 ２日目　ボウルトーナメント　１勝１敗 **＜課題＞** 本大会の上位チームはミスが少なく、パスの正確さやグランドを広く使ってスペースを見つけて攻める判断が勝っていた。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
普及育成委員会	**【強化合宿】** ◆第１次強化合宿 ８月２２日（土）～２３日（日） 於：野幌総合運動公園ラグビー場 参加　選手４５名　コーチ１４名 ◆第２次強化合宿 １０月３日（土）～４日（日） 於：バーバリアンズ定山渓グランド 参加　選手３０名　コーチ１２名 ◆第３次強化合宿 １０月３１日（土）～１１月１日（日） 於：野幌総合運動公園ラグビー場 参加　選手２２名　コーチ９名 ◆北海道中学生スクール選抜強化合宿 期日　２８年2月6日（土）・7日（日） 場所　札幌市　札幌学院大学室内練習場	北海道中学生スクール選抜指導体制 第１次強化合宿前に、北海道選抜チームの指導体制を関係者に通知した。（下記のとおり） 団長　星　敏幸 協会 ヘッドコーチ　小柴　大地 帯広ＲＳ コーチ　畠中　学 函館ＲＳ コーチ　長谷川竜介 北海道ＢＢ コーチ　小関　祐太 遠軽ＲＳ **＜成果＞** ジュニア協議水準の向上を図るとともに、東日本ジュニアスクール大会参加チームの選抜および強化を目的として３回の強化合宿を実施した。 ①これまでの選抜チーム指導員に加えて、若い世代のコーチ陣を招集し、広く強化方針の共有が実現した。 ②ミニ・ジュニアを中心としたスクール・クラブ・ジュニアチーム選手の最終的な目標となり、参加のモチベーションも年々向上している。 **＜課題＞** ①中学生ジュニア強化は、選手人口の増加への第１歩であり普及と育成が必須である。小学生のミニラグビーの競技人口の拡大・勧誘等に対して、関係者になお一層の取り組みをお願いしたい。 ②ミニ・ジュニアの各チームの指導項目・方法等の共有化を促進するため、道協会ＨＰ・フェイスブックなどを利用し各種情報の共有化などの更なる充実が必要。 **＜成果＞** 全道から３６名を召集して実施した。 ２年生が少ないことから、１年生の高いスキルの選手も招集し、セレクションを行った結果２２名の東日本Ｕ１５選抜大会出場選手を選出。（１年生３名を含む）

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
普及育成委員会	**【交流戦】** ●２７年度北海道中学生交流試合 期間　６月～１０月 ・主な会場 野幌総合運動公園ラグビー場 北海道バーバリアンズ定山渓グランド ・参加チーム 小樽ラグビー少年団 札幌ラグビースクール 旭川少年ラグビースクール 北海道バーバリアンズジュニア 北嶺中学校 立命館慶祥中学校 柏丘中学校 ・開催内容 開閉会式及び表彰式 札幌支部補助事業 ・付帯事業 北海道中学生合同練習会 （６月１３日－１４日） 後援：関東協会、日本協会 主管：札幌支部 招待コーチ： 日本協会　梅月信吾コーチ **【東日本スクール大会】** １ｓｔステージ 期日　１０月１８日 会場　函館市　根崎ラグビー場 参加　北東北選抜、岩手選抜、 北海道選抜 ２ｎｄステージ 期日　１１月７日・８日 会場　千葉県スポーツセンター 参加　東日本地域の選抜チーム （１４地区）	**＜成果＞** 道央地区のスクール・クラブ及び中学校チームが参加し、通年にわたって交流試合を実施した。また、全道の全チームを対象に合同練習会を実施し、指導方針・方法の確認、選手の基本スキルの向上ならびに道内対象チームの交流親睦を図った。 ①今年度で１０年目を迎えて、定着しつつあるが、他事業の増加や選手数の減少により合同チームによる試合増によってゲーム実施数が減少している。 ②中学生のチーム数が少ない北海道においては、数少ない試合機会であり、チーム指導上大きな利点がある。 **＜課題＞** ①７人制の導入について委員会内部で協議したい。 ②ミニラグビーの試合数が全体に少ないことから、交流試合を積極的に導入したい。 ③全道的な参加を促したい。 ④例年同様に日本協会等の指導者の協力を得て、合同練習会を実施し、基本的な指導方針の浸透を図りたい。 **＜成果＞** ①１ｓｔステージの東北・北海道予選で３チーム中２位通過。２ｎｄステージでは２勝し、プレート戦決勝に進み、準優勝の結果を残した。 **＜課題＞** ①北海道スクール選抜チームは、全道各チーム指導員の協力や研鑽により、確実に競技力の向上が見られた。 ②東日本大会では、各チームの実力が均衡し、シードチームとの差が少なくなってきている。

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
普及育成委員会	**【ヒーローズカップ全国小学生ラグビー大会】** 期日　平成２８年２月２７日（土） ２８日(日) 会場　東大阪市　花園ラグビー場 ≪出場≫函館ラグビースクール(高学年)	**＜成果＞** 前年９月のスクール小学生大会（高学年）優勝チームに出場権を与え、北海道から初の出場となった。 全試合僅差の１勝３敗の成績ながら、雪に閉ざされた北海道チームの活躍は大会本部からも称賛された。 **＜課題＞** ①個人費用負担が高額であり、大会本部からの補助金が遠征直前に支出された。 ②ジュニア(中学生)ラグビーへの移行するカテゴリーとして、競技力の向上が見込まれるため、スクール大会優勝チームに出場権を与え継続出場を実施したい。
	【東日本Ｕ１５選抜大会】 期日　平成２８年３月１２日（土） １３日(日) 会場　水戸市　ツインフィールド ケーズデンキスタジアム水戸	**＜成果＞** 北海道スクール選抜 第２グループ予選リーグＤプール vs 東京都中学校選抜Ｂ　12-31 vs 栃木県選抜　67-0 第２グループＡ決勝リーグ・プレート vs 長野県中学校選抜　10-5 vs 千葉県ＲＳ選抜　20-17 第２グループＡプレートを優勝で終了 北海道中学校選抜 第１グループ予選リーグＡプール vs 東京都中学校Ａ　0-75 vs 群馬県ＲＳ選抜Ａ　24-15 第１グループＡ決勝リーグ・プレート vs 岩手県選抜　7-30 vs 秋田県中学校選抜Ａ　12-31 第１グループＡプレートを３位で終了 ※冬季間の練習が充分できないこの時期の結果として、本シーズンに期待できる結果であった。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
育成委員会（中学校担当）	●第６回全国中学校ラグビーフットボール大会　北海道予選会 期日　７月３日（金）・４日（土）・５日（日） 会場　札幌市・月寒ラグビー場 参加校 函館ラ・サール中学校（３０名） 立命館慶祥中学校（２０名） 北嶺中学校（１５名）	**＜成果＞** ①三校が切磋琢磨することで、中学校ラグビーの底上げにつながっている。 ②３日間とも月寒を使用できたことは有意義であった。 ③優勝した函館ラ・サール中学は、東北北海道大会で善戦した。 **＜課題＞** ①近年私立三校のみの参加が続いている。参加校の増加が課題である。 ②６月から７月にかけては、各校とも学校行事が多く日程調整が難しい。
	●第３４回北海道中学校ラグビーフットボール大会 期日　９月５日（土）・６日（日） 会場　函館市・根崎ラグビー場 参加校 函館ラ・サール中学校（３０名） 立命館慶祥中学校（２０名） 北嶺中学校（１５名） 柏丘中学校（１２名）	**＜成果＞** ①今大会から柏丘中学校が参加して４チームのトーナメントを組む事が出来た。 ②函館協会の協力で、素晴らしい環境で試合ができた。 ③優勝した函館ラ・サール中学は、東北北海道大会で優勝校を追い詰めることができた点は北海道のレベルアップを示している。 **＜課題＞** ①４校の参加であった。今後も参加校の増加が課題である。 ②実力差があり、ミスマッチになってしまった試合があった。安全面の配慮を考えたい。 ③全中の東北北海道予選、東日本の東北北海道予選の間に、本大会が開催され、優勝したチームはスケジュールが過密になる。また、経済的負担も大きい点が課題である。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
育成委員会（中学校担当）	●第２１回全国ジュニアラグビーフットボール大会　北海道・東北代表決定戦 期日　１１月１４日（土）・１５日（日） 会場　秋田県・秋田工業高校ラグビー場 参加チーム 北海道中学校選抜（２５名） 秋田県中学校選抜 岩手県中学校選抜 山形県中学校選抜	**＜成果＞** ①３月のＵ１５選抜大会から、半年間チーム作りを行い、強い連帯感を作ることができた。 ②遠征のノウハウが蓄積されている。 ③東北の強豪を退け、２年連続で全国ジュニアに初出場できた点は、大きな成果である。 **＜課題＞** ①各校の学校事情で強化に向けた日程の確保が難しい。 ②選抜チームへの動機づけの維持が難しい場合がある。 ③選手の経済的負担が大きい。
	●第２１回全国ジュニアラグビーフットボール大会 期日　１２月２９日（土）～３１日（日） 会場　東大阪市・近鉄花園ラグビー場 堺市・Ｊ－ＧＲＥＥＮ堺 参加チーム 北海道中学校選抜（２４名） 他全国から１５選抜チーム	**＜成果＞** ①北海道から３回目、中学校選抜としては２年連続の出場であったが、ジュニアの選手が花園でプレーできた点に、まず価値があった。 ②全敗だったが、どの試合も真剣勝負で挑み、試合内容も評価のできるものであった。 ③中学校３校のチームスタッフが、選抜チームの意義や将来の事を、時間をかけて検討することができた。 **＜課題＞** ①チームに、戦略・戦術を徹底する時間を作り出せない現状にある。 ②各校の事情で十分なチーム練習ができない。 ③ただ出場するだけではなく、勝ち上がるためのチーム作りと、それを支えるチームの規律と自立した選手育成が必要である。
	＜下記未実施・実施後追記予定＞ ●東日本Ｕ１５選抜大会 期日　平成２８年3月１２日（土）１３日（日） 会場　水戸市　ツインフィールド ケーズデンキスタジアム水戸	**＜成果＞** **＜課題＞**

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
高校委員会	・第２回全国高校７人制大会（ アシックスカップ）北海道予選会 期日　６月６日（土）～７日(日) 会場　北海道バーバリズ定山渓グラウンド 参加選手　１０８名	**＜成果＞** 第２回大会は全道９チームで実施した。各支部の参加状況は概ね良好。昨年に比べレベルアップが感じられた。今後の発展も期待できる。また、協賛金の協力・宿泊場所の格安な提供により運営ができている。 **＜課題＞** 各学校において旅費が出ないなどの大きな課題は昨年同様である。仮に全国大会に進出した際、公欠が認められないことや旅費が学校からでないなどの学校規定との兼ね合いが問題である
	・第１１回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会北海道予選会 期日　6月6日（土）～7日（月） 会場　北海道バーバリズ定山渓グラウンド	**＜成果＞** 今回より４地区選抜を編成しトーナメント大会を実施した。大会を通じ２２名の優秀選手を選出した。少人数でも全国大会を目指すことができる夢の大会であり、選手のモチベーションも高く、年々レベルが上がってきている。 **＜課題＞** 支部をまたぎチームを編成しなければならない学校もあり、事前練習に苦慮していた。少子化の昨今では、部員不足はやむを得ないが、各高校が単独チームで大会出場できるよう部員勧誘にいっそう努力してもらいたい。
員会	平成２７度北海道体育大会 兼第７０回国民体育大会北海道予選会 （少年男子の部）ラグビーフットボール競技 期日　平成２７年６月１８日（木） ～１９日（金） 会場　帯広市　帯広の森球技場 選手数　少年Ａ１９３人 （前年＋５８） 少年Ｂ１３５人 （前年－１３） 少年Ａ優勝：北見 準優勝：札幌 少年Ｂ優勝：札幌 準優勝：旭川・富良野	**＜成果＞** ①平成１６年度から十勝支部で行っている国体道予選も今年で１２回目になる。１７年度からはＵ１７のトーナメントも実施し、道内高校生の競技力向上と普及活動につながっている。今年は、２日目程に変更して５年目となる。大会運営ではポール設営、記録等に十勝支部協会、クラブ・大学委員会から多くの協力を得ながら、スムーズに競技進行することができた。 **＜課題＞** ①年々ラグビー部員の減少に伴い少年Ａ，Ｂ の８部代表トーナメントが難しくなり、少年Ｂは２０年度、少年Ａは２１年度から参加チーム数、支部割りを考慮しながら大会方式を変更してきている。 ８支部対抗戦３日目程においては選手選考がしっかり出来る反面、支部によっては経済的負担が大きいことから辞退する選手がいる現状をふまえ、平成２３年度から２日目程に変更した。今年度はＵ１７トライアウトを国体予選後に実施。

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
高校委員会	平成２７年度ＴＩＤユースキャンプ・北海道ブロックＵ１７トライアウト 期日　６月１９日(金)～２１日(日) 会場　帯広の森ラグビー場 参加選手　４９名 指導者　中野茂樹、黒田弘則、松田祐一、堀　智博、関川淳司、山口昴希、加藤秀和、成田正人、岸本泰輔、小野泰章、鈴木大介、日本協会RC野澤武史氏	**＜成果と課題＞** 日本協会主催。全国９ブロックで実施されているＵ１７世代の強化育成を目的としたもので、コベルコカップ菅平Ｕ１７大会のセレクションを兼ねて実施した。日本協会からＲＣ(リソースコーチ)が来道し、Ｓ＆Ｃ測定、基本テクニック、スキル習得を目的としたセッション、セレクションゲーム、各種セミナーなど内容の濃い３日間だったが、選手の取り組みは素晴らしく、有意義な強化の機会となった。
	・第１回北海道代表候補強化試合 (北海道ラグビー協会招待試合前座) 期日　６月２８日(日) 会場　札幌月寒ラグビー場 参加選手　Ｕ１７ /Ｕ１８北海道代表候補４０名 指導者　岸本泰輔、黒田弘則、中野茂樹、伊藤充晴、松田祐一	**＜成果と課題＞** 選手強化につながった。特に、大会直前のＵ１７代表にとって有意義であった。今回は、Ｕ１７とＵ１８がゲームをした。様々な意見があったことを踏まえて今後の課題としたい。
	・第４２回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会 期日　７月２６日(日)～３０日(金) 会場　野幌運動公園ラグビー場 札幌月寒ラグビー場 参加選手　３５０名（１２チーム）	**＜成果と課題＞** 全国との強豪と対戦できる良い機会である。競技力向上につなげたい。来年度は菅平大会と日程が重複しているので日程の調整をおこなう。
会	第２回Ｕ１８北海道代表候補強化試合 (北海道高校選抜大会・中日) 期日　７月２８日（月） 会場　野幌総合運動公園 参加選手　Ｕ１８北海道代表候補２８名 指導者　岸本泰輔、黒田弘則、中野茂樹、伊藤充晴、山口昴希	**＜成果と課題＞** 第 1 回強化試合を経て絞り込まれた２８名の選手を招集し、選抜大会の招待チームとして来道している青森県選抜との試合を実施。長崎国体に向けた最終選考を行った。青森の強力ＦＷに苦しみながらも北海道の選手達は個々にハードなＤＦを見せた。貴重なセレクションの機会であった。国体本戦を見据え北海道の戦い方の方向性を見出すことができるなど有意義であった。
	・コベルコカップ２０１５ 第１１回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会 期日　７月３０日(木)～８月２日(日)	(Ｕ１８) 予選会を通じて優秀選手２２名を選考し、大会に臨んだ。よって、個々の能力はあってもチームとしての力をいかに発揮できるかかが課題であった。しかし、神戸製鋼の

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
	会場　長野県菅平サニアパーク 参加選手　Ｕ１７（２２名） Ｕ１８北海道代表（２２名）	元選手による指導を受け、見違えるほどのチームに成長した。 （Ｕ１７） ６月のＵ１７トライアウトによって選出された代表２２名が出場した。代表選手決定後、強化試合（６/２８月寒）を経て本大会にのぞんだ。初日の予選リーグは九州、中国に力の差を見せつけられ大敗。最終日はボウルリーグに進み、善戦したものの東北、東海に敗退。残念ながら４戦全敗で大会を終えた。次年度、岩手国体の中心世代であることから、さらなる強化が必要である。
高 校 委 員 会	第２５回北海道高等学校１年生Ｕ１６ラグビーフットボール大会 期日　２７年8月9日(日)～１１日(火) 会場　北見市南町ラグビー場	選手一人一人の出場機会を確保するためのチーム編成を進めた。登録人数が１５名ぎりぎりというチームが散見され、昨年度大会から招待参加の三重県立稲生高校を含めて１２チームでの開催となった。稲生高校には招待チームとして参加補助を行った。 大会初日は、3チーム４リーグのリーグ戦で実施。 二日目は、予選結果をもとに順位戦を含めた４チーム３トーナメント形式で実施。 登録選手は、ここ１０年では最小数となる２１０名となった。１年生部員の確保が大会維持にも欠かせない状況である。 **＜課題＞** ①実施時期 夏合宿時期を考慮し８月９～１１日開催。 ②レフリーの確保 各チームに振り分け実施。 ③チーム編成 春の入部から人数の増減の多いチームがあるため、人数の動静を把握し、チーム編成を適切に行う必要がある。 ④合同セッション コカコーラウエストのクリニック実施。 ⑤参加者負担 バス料金急騰による経済的負担が著しく増加した。改善策の検討が急務である。 ⑥招待チーム 補助等を進め、さらに参加を募ることを推進する。
	平成２７年度ＴＩＤユースキャンプ・北海道ブロックＵ１６トレセン 期日　８月９日（日）・１０日（月）	**＜成果と課題＞** 日本協会主催。全国９ブロックで実施されているＵ１６世代の強化育成を目的として行われた。各支部からの推

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
高校	会場　北見北斗高校、北見市南町河川敷グランド 参加選手　５８名 指導者　伊藤充晴、松田祐一、山口昴希、堀　智博、岸本泰輔	薦選手を招集し、S＆C測定、基本テクニック習得を目的とした各種セッション、北海道代表やその先の高校代表、日本代表に向けた道筋についてセミナーを実施した。U16 大会期間中の限られた日程の中、選手達は集中した素晴らしい姿勢で参加していた。
	・第６８回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会 兼第９５回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会 期日　9月２２日(火)･２６日(土) 会場　函館市	**＜成果＞** ・道協会、函館支部、審判部など多くの方々の協力により、順調に大会運営ができた。 ・協賛社及び多くの方の支援によりテレビ放送が実現できた。 **＜課題＞** ・大会運営に関わる費用は、予算内でおさまらなかったため、来年度に向け検討したい。
委員	第７０回国民体育大会・和歌山国体 期日　１０月１日(木)～ 会場　和歌山県 参加選手　２３名	**＜成果と課題＞** ９/２８～２９に定山渓グランドをお借りし、出発直前合宿を行い和歌山に移動、前日の公式練習を経て大会にのぞんだ。岩手県に対し、セットプレーで後手にまわるも後半途中まで善戦。相手の激しいプレッシャーにミスを多発し、そこを突かれて失点を重ねた。ＦＷＢＫともにフィジカル、プレッシャー下でのプレーの精度に課題を残した。今後、強豪県と対峙していくための効果的な強化プログラムを検討していかなければならない。
会	･第２３回北海道高等学校ラグビーフットボール新人大会兼第１７回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会北海道予選会 期日　１０月１８日(火)～２２日(土) 会場　函館市根崎ラグビー場	**＜成果と課題＞** ・大会運営はスムーズであった。 ・初戦をより大きな力の差が出ないように大会組みあわせに配慮した。
	・第９５回全国高等学校ラグビーフットボール大会 期日　１２月２７日(日)～１月１１日(月) 会場　近鉄花園ラグビー場	代表校 南北海道　函館ラ・サール高校 北北海道　遠軽高校

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
高校委員会	・第８回Ｕ１８東西対抗戦 期日　平成２８年1月７日（木） 会場　大阪府・近鉄花園ラグビー場	東軍監督　山口　昴希（中標津） 函館大学付属柏稜３年　白戸　恭平 北海道旭川東　３年　岡田　恭輔 北海道中標津　３年　向峰　康太 旭川龍谷　３年　踊場　海斗 以上　４名出場
	・第４回全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会 期日　平成２７年4月４日～５日 会場　埼玉県熊谷市熊谷ラグビー場	出場選手 北海道６名、関東６名（北海道関東合同） 試合結果 予選リーグ ・北海道関東４１－０東海 ・北海道関東０－５０福岡　（予選２位） 決勝トーナメント（プレートの部） １回戦　北海道関東３２－１４千葉 決　勝　北海道関東１５－１７近畿 ※プレートの部準優勝 **＜成果＞** ・北海道の選手にとって全国大会で勝利できたことは大きな功績。 **＜課題＞** ・選手が少ないため、関東の選手と合同。ほとんど関東の選手の活躍で勝利や接戦になった。北海道選手の強化が必要。 ・雪のため北海道では練習ができないため、練習、ゲーム不足が露呈された。来年度は事前合宿や練習などが不可欠。全国大会に対応できない。 ・来年度は北海道代表の単独出場を目指したい。 ・北海道代表の試合用ジャージがない。
	・第５回全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会 期日　平成２７年7月３０日～8月２日 会場　長野県上田市菅平高原サニアパーク	出場選手 北海道１２名、四国１０名（合同） 試合結果 北海道四国０－３６北信越 **＜成果＞** ・今年度から７人制から１５人制に移行。四国と合同で講習会形式からスタートし、ゲームができるまでなった。 **＜課題＞** ・選手不足。 ・選考会を含めて、事前合宿や練習会など多くやらなければ強化できない現状である。普及と強化をしっかり考えなければならない。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
高校委員会	・花園女子１５人制東西対抗 期日　平成２７年１２月２７日 会場　大阪花園ラグビー場	出場選手 選出選手なし 【課題】 ・選考会が関東で行うため、北海道から参加することが金銭面などで厳しい。多くの生徒が選考会に参加できるような支援などをすべき。
	・前座試合(早慶戦) 期日　平成２７年6月２８日 会場　札幌月寒ラグビー場	出場選手 女子高校選手、女子大学社会人選手 【成果】 ・１５人制で実施。北海道の女子選手が集まって試合ができたことが大きな成果。 【課題】 ・女子大会用(１５人制)のジャージがない。 ・女子が目標とする北海道の大会がない。 ・女子選手が目標とする大会の新設を考えてほしい。
	・前座試合(トップリーグ) 期日　平成２７年9月１３日 会場　札幌月寒ラグビー場	出場選手 女子高校選手、女子大学社会人選手 【成果】 ・７人制で実施。北海道の女子選手が集まって試合ができたことが大きな成果。 【課題】 ・女子が目標とする北海道の大会がない。 ・女子選手が目標とする大会の新設を考えてほしい。
	・前座試合(高校全道大会) 期日　平成２７年9月２６日 会場　函館根崎ラグビー場	出場選手 女子高校選手、女子大学社会人選手 【成果】 ・７人制で実施。北海道の女子選手が集まって試合ができたことが大きな成果。 【課題】 ・女子が目標とする北海道の大会がない。 ・女子選手が目標とする大会の新設を考えてほしい。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
高専委員会	第５１回北海道高等専門学校体育大会 ラグビーフットボール競技　兼 第４６回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会北海道地区予選 平成２７年１０月１０日（旭川）	函館高専　対　旭川高専 ２７　　１２
	第４６回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 平成２８年1月４日～９日（神戸）	１回戦　函館高専　対　八戸高専 ４１　　５ ２回戦　函館高専　対　神戸高専 ０　　８６
大学委員会	平成２７年度学生強化講習会 開催日　平成27年5月9日・１０日	会場：定山渓ラグビーグラウンド **＜成果＞** （1）前年に続き、札幌市のラグビーアカデミー事業の一環として定山渓の北海道バーバリアンズグラウンドを借りて実施した。講師は、バーバリアンズのコーチ・選手計６名に依頼した。参加者は２４名であった。全体を通したテーマは、「コンタクト・ブレイクダウン」であった。 （2）１日目は、ラグビーの動きを取り入れたウォーミングアップや体幹トレーニング。基本的なコンタクト練習（基本姿勢、１対１、２対１、２対２）、ラインディフェンスの基礎とミニゲームなどについて、講師の方々に段階的に指導していただいた。 （3）２日目はラグビーの動きを取り入れたウォーミングアップや体幹トレーニングの後、前日の基本的なコンタクト練習の復習と発展、ラインディフェンスから組織ディフェンスへの発展について確認し、最後にＦＷ/ＢＫ別スキル練習と実践に近いミニゲームなどの指導をしていただいた。 （4）札幌支部の事業との共催を継続できたことは、今後に繋がる意味で有意義であった。また今回もドクターを依頼し、怪我防止に努めた。 **＜課題＞** （1）例年のことではあるが、より多くの参加者を得ることと、特に遠方の大学からの参加を促すことは課題である。
	平成２７年度春期大学交流大会 開催日　平成26年5月3日～6月14日	会場　野幌ラグビー場他 **＜成果＞** （1）各校のＢチームの試合なども含め、計１３試合を各地で開催した。

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
大学委員会	第１７回北海道地区大学セブンズラグビーフットボール大会 期日　平成２６年7月２６日（日）	（２）５月２３-２４日の週末は集中的に６ゲーム行った。多くの学生とレフリーが集る場は有意義であった。 **＜課題＞** （１）札幌圏以外のチームの参加をもっと促す必要がある。Ｂチーム同士のリーグ戦を開催することも検討すべき。 会場　野幌ラグビー場他 **＜成果＞** （１）１部は大学３チームと社会人を含む選抜チーム１チームのリーグ戦で実施し，北海道大学Ａが優勝。８チームが参加した２部は道都大学Ｂが優勝、コンソレーションは札幌医科大学が優勝した。北海道大学は２０１６年４月に秩父宮ラグビー場で開催される東日本大学セブンズ大会に北海道代表として出場する。 （２）毎年、この大会が月寒ラグビー場で開かれることで、選手の参加意欲、モチベーションは高まっている。 （３）参加校のうち、北海道大学水産学部は人数不足のため１５人制の大会には出場しなかった 今後、セブンズ大会に照準を合わせて活動するチームがさらに増えるかもしれない. （４）大会の中間に、恒例となった女子マネージャを対象としたタグラグビーの講習会と試合を実施した。例年通りの盛り上がりを見せ、レフリーの休憩時間の確保、大会後半の時間遅れの回避にも役立った。 （５）毎回参加してくれるレフリーが多く、レフリー間の交流も深まっている。インゴールジャッジは各校の学生が務めた。 **＜課題＞** （１）全国大会へ出場できる１部のレベルアップが必要。 （２）女子タグラグビーの定着と、一般観客に足を運んでもらえるようなさらなる工夫が必要である。 （３）参加チーム数が毎年変わるため、トーナメントやリーグ戦の実施形態に工夫が必要となっている。 （４）北海道のセブンズ強化を目的として北海道選抜チームに特別参加してもらった。強化に繋がるようなら来年も検討したい。 **＜課題＞** （１）全国大会へ出場できる１部のレベルアップが必要。

委員会名	事業名及び実施日	成果及び課題
大学委員会		（２）女子タグラグビーの定着と、一般観客に足を運んでもらえるようなさらなる工夫が必要である。 参加チーム数が毎年変わるため、トーナメントやリーグ戦の実施形態に工夫が必要となっている。
	第４５回北海道地区大学選手権大会 兼 第２３回全国大学選手権大会予選 兼 第６６回全国地区対抗大学大会北海道予選会 開催日　平成２６年9月１２日 ～１０月１８日	会場　各地区のグラウンド、帯広の森ラグビー場、小樽望洋台グラウンド、野幌ラグビー場、月寒ラグビー場 **＜成果＞** （１）今年度から方式を変更し、Ａ１リーグ４校、Ａ２リーグ４校、Ｂトーナメント１０校の計１８校で行った。Ａはリーグ戦を行い、Ａ１とＡ２の上位２校の６チームによる決勝トーナメントで北海道の代表チームを決定した。Ａ２リーグの下位２チームとＢトーナメントの上位２チームは入替戦を行った。 （２）開催方式を変更した結果、前年度に8試合あった８０点差以上の試合が１試合に、どちらかが１００点以上得点した試合が５試合から１試合にそれぞれ減った。 （３）Ａは３人レフリー体制、メディカルと水係がビブスを着用することが定着している。Ｂもできる限り３人レフリー体制で実施した。地方開催の試合には大学委員が責任者として立ち会った。 （４）集中開催は札幌の他、網走と帯広と小樽で行った。いずれも支部の方々の協力を得てすべていい環境でゲームが実施できた。 （５）１チームの試合棄権があり、そこでＢの学連選抜チームを構成してエキシビションを実施した。人数不足で大会に登録できなかった北海道科学大の選手も参加でき、このような試みも有効であることがわかった。 **＜課題＞** （１）Ａ，Ｂとも１５人以下での試合を余儀なくされるケースがあった。安全対策と、部員数が少ないチームの危険防止、モチベーションを下げない工夫が必要である。 （２）公式戦に参加する姿勢が見られないチームがまだある。
	その他	（１）大学委員会は、２０１４年3月２９日、同8月３０日、２０１５年2月１４日に、学連委員会と合同で開催した。

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
社会人・クラブ委員会	第４１回北海道クラブラグビーフットボール選手権大会　兼　第２５回東日本クラブ選手権大会北海道予選 【北海道トップトーナメント】 平成２７年５月３１日～７月２６日 【北海道チャレンジリーグ】 平成２７年８月３０日～１０月４日 【入替戦】 平成２７年１０月１４日 ※得点結果等は別掲	**＜成果＞** 　これまで北海道トップリーグと北海道チャレンジリーグの２部リーグで実施していた対戦方式を、実力上位チームのリーグ戦をトーナメント戦方式に変更して実施した。トーナメント戦、リーグ戦合わせて８チームがエントリーした。前年度から１チームの減少である。 道トップトーナメントは５チームで争われ、近年、他チームとの実力差が顕著となっている北海道バーバリアンズが決勝戦からエントリーすることとした、いわゆる「スーパーシード方式」により実施した。 結果は、圧倒的な実力差を見せつけた北海道バーバリアンズＡが優勝し、準優勝は上磯ラガーとなった。３位はOKHOTSK BLUE R.F.C、４位はサッテツクラブ、５位はとかチェスとなった。 ※優勝の北海道バーバリアンズは、東日本クラブ選手権大会北海道ブロック代表として本大会に出場し、１１月１５日の決勝戦で神奈川タマリバクラブを３４対２７で下し、２年連続４回目の東日本クラブチームの覇者となった。 準優勝の上磯ラガーは、１回戦、準決勝と接戦をものにし、持ち前の粘り強さとチームの結束力を発揮した。 ※上磯ラガーは、北海道ブロック２位として全国クラブ選手権の予選となる東日本４ブロックの２位チームによる予選に出場するも、東北ブロック２位の八戸ラガーに２５対２２で惜敗し、全国大会への出場はかなわなかった。 道チャレンジリーグは、ＦＡクラブが若手選手の活躍もあり２勝で優勝した。２位は札幌クラブ、３位は北海道バーバリアンズＢとなった。 入替戦では、トーナメント５位のとかチェスがチャレンジリーグ優勝のＦＡクラブを下し、上位チームの意地を見せた。 ※トーナメント４位のサッテツクラブとチャレンジリーグ２位の札幌クラブの試合は札幌クラブのチャレンジ権不行使により試合なし。 **＜課題＞** 参加チームが減少傾向にある中、今年度も前年度に比べ参加チームが１減となり、８チームでの開催となった。また、併せて各試合における選手登録においても、ぎりぎり人数しか確保できないチームが多く、試合に勝つことの前に、選手確保に苦心するといった状態であった。 　変則のスーパーシード方式によるトーナメント戦と

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
社会人・クラブ委員会	第１２回東日本トップクラブリーグ Ｄｉｖ．１（北海道開催分） ① 平成２７年８月３０日（定山渓） 北海道バーバリアンズ 対　駒場WMM （○５７－３５） ② 平成２７年９月１２日（定山渓） 北海道バーバリアンズ 対　RKUラグビー龍ヶ崎ドラゴンズ （○５９－３４） ③ 平成２７年９月２０日 北海道バーバリアンズ 対　神奈川タマリバクラブ （○２５－１０）	リーグ戦での実施方式は、試合数の減少などの問題もあり、今後に向けてどのような実施方法が良いか検討をしていく必要がある。一方、エントリー数の減少は、さまざまさ問題を抱えながらも問題解決に向けた検討を進めている中、その選択肢を狭めているといった悩みもある。レフリーの配置については、一定の時期に高校、大学、クラブなどの試合が集中し、また、当委員会としても実効性のある対策が講じられないまま、各支部及びレフリー委員会にご協力をいただき何とか実施している状況である。 試合内容に関して、トーナメント戦については優勝した北海道バーバリアンズＡ以外の４チームの実力が伯仲していて、試合終了間際の逆転もあり、どのチームも気が抜けない内容で試合としては面白いものであった。優勝した北海道バーバリアンズＡに関しては、道内チームとの公式戦を１回しかできない中での優勝決定ということでやや消化不良の感もあるが、突出した実力から考えるとやむを得ないものと考えている。 チャレンジリーグに関しては、各チーム２試合しか実施できないといった、リーグ戦方式としてもさびしい印象の中で大会を実施したが、各チームの努力もあり、何とか４０分ハーフの試合を実施することができた。 北海道バーバリアンズ以外の各チームにおいては、クラブスタッフの育成、人材の発掘も急務である。 W杯の日本代表の活躍や２０１９年日本大会のことを見据え、クラブラグビーもさらに盛り上げていきたい。 【成果等】 昨年度から、このリーグは東日本クラブ選手権とは切り離し、各参加チームの主体的な運営で実施されることになり、今年度は全１２チームがエントリーし、実力別にDiv.１とDiv.２の２つのカテゴリーに分けて実施された。北海道バーバリアンズがエントリーしている Div.１では、関東の３チームを札幌市定山渓に迎え実施した。 　試合は、いずれも北海道バーバリアンズが勝ち、その後の本州で行われた残り２試合にも勝ち同チームが全勝で３年ぶり３回目の優勝を飾った。 　運営面でも、同クラブのメンバーが準備を重ね、試合からアフターマッチファンクションに至るまで配慮の行き届いた運営であった。 【課題等】 　W杯以降、ラグビー人気の盛り上がりがあったものの、

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
社会人・クラブ委員会		クラブラグビーへの世間の認知度はまだ低く、今後、一般のラグビーファンにも観てもらえるような取り組みが必要であると感じた。 運営にあたっては、ホームチームが主体となって円滑に進み、特段の混乱なく終えることができた。 なお、本大会へのレフリー配置に関し、レフリー委員会に特段の配慮をいただいたことに感謝申し上げる。
広報委員会	ラグビーのファン、メディア、協会関係者、スポンサー、地域社会、行政機関などのあらゆるステークホルダー（関係者）とのコミュニケーションに努め、ラグビーの認知・人気の向上やラグビーファミリー増大に繋げるために、社会から好意・好感を得られるような以下の広報施策を展開する活動を行っている。 **1. メディア対応** **2. 情報管理** **3. 協会内対応**	**＜活動報告＞** **1. メディア対応** ・メディア露出につながるような情報の工夫とタイムリーな情報発信 ・メディアとの良好なコミュニケーション関係作り ・競技時の適切な取材環境の確保と提供 ・定期的な訪問、意見交換及び懇談 **2. 情報管理** ・ホームページの管理、運営及び情報基盤の整備 ・広告スポンサーの獲得 ・ニュース・ソースの発掘及び情報収集 ・ニュース・リリースの作成・配信 **3. 協会内対応** ・理事及び支部への情報発信 ・支部開催イベントの露出拡大 ・各委員会管轄試合の委員会との連携による広報の的確な対応 ・試合告知などの広報活動 **＜今後の課題＞** ・RWC２０１９に向けたコミュニケーションプランの策定 ・支部及び日本協会、関東協会、RWC 組織委員会との連携や役割分担による的確なメディア対応の実施 ・これまでのスポーツメディアだけでなく、情報、番組、バラエティー、地方メディア、ミニコミ誌への記事掲載の促進

委員会名	事業名及び実施日	成　果　及　び　課　題
ゴールデンオールディーズ委員会	＊６月２７日（土） 第１回　委員会開催。 ＊６月２８日（日） 春の招待試合 「早稲田大学 VS 慶応義塾大学」戦、競技役員で協力。 ＊９月１２日（土） 第２回　委員会開催。 ＊９月１３日（日） トップリーグプレシーズンマッチ「パナソニックワイルドナイツ VS トヨタ自動車　ヴェルブリッツ」戦、競技役員で協力。	**＜成果＞** ＊招待試合並びにトップリーグ 競技役員として大会運営に参加。 ＊昨年に引き続き名簿の整理 **＜課題＞** ＊会員の高齢化 ＊会員の地域の偏り ＊委員会の活動を札幌中心から全道各地に拡大していくことで、新会員の増員を目指す。 ＊２０１９年のワールドカップ開催に向け ラグビー人口を増やすため、どのような取り組みが出来るか今後検討する。

第７０回国民体育大会　北海道選手団名簿

少年男子の部

No.	氏　　名	学　校　名	No.	氏　　名	学　校　名
1	高　野　祐　哉	北海道北見北斗高等学校	13	武　田　俊　哉	北海道遠軽高等学校
2	吉　田　秀　斗	北海道遠軽高等学校	14	中　村　靖　也	札幌山の手高等学校
3	石　丸　政　大	北海道遠軽高等学校	15	鈴　木　　匠	札幌山の手高等学校
4	高　橋　廣　多	札幌山の手高等学校	16	荒　木　隆　大	北海道函館工業高等学校
5	井　上　雄　太	北海道遠軽高等学校	17	臼　井　健　朗	立命館慶祥高等学校
6	松　岡　丈　郎	立命館慶祥高等学校	18	飛騨野　雄　輝	札幌山の手高等学校
7	伊　藤　鐘　平	札幌山の手高等学校	19	竹之下　遙　樹	札幌山の手高等学校
8	澤　田　雄　大	札幌山の手高等学校	20	峯　田　　晃	北海道遠軽高等学校
9	加　藤　瑞　貴	札幌山の手高等学校	21	田　中　竜　士	立命館慶祥高等学校
10	木　下　征　吾	北海道遠軽高等学校	22	河　合　俊太郎	北海道北見北斗高等学校
11	兼　田　悠　矢	北海道遠軽高等学校	23	古　屋　　翔	北海道遠軽高等学校
12	繁　松　哲　大	札幌山の手高等学校			

スタッフ

団長	小　野　泰　章	北海道野幌高等学校	コーチ	伊　藤　允　晴	札幌山の手高等学校
総務	鈴　木　大　介	北海道札幌厚別高等学校	コーチ兼メディカル	山　口　昴　希	北海道中標津高等学校
監督	岸　本　泰　輔	北海道小樽桜陽高等学校	トレーナー	江　口　亮　太	あしのトラブル整骨院

成年男子の部

No.	氏　　名	所　属　先	No.	氏　　名	学　校　名
1	滝　内　良　太	㈱ファーマホールディング	9	平　川　哲　也	西　出　興　業
2	君　嶋　祐　太	㈱日本レーベン	10	櫻　場　　弥	西　出　興　業
3	笹　田　幸　介	㈱メディカルシステムネットワーク	11	露　木　　光	北海道旅客鉄道㈱
4	和　田　昂　樹	㈱日本レーベン			
5	馬　渕　　勝	㈱日本レーベン			
6	奥　田　浩　也	㈱日本レーベン			
7	東　藤　拓　真	西　出　興　業			
8	七　戸　勇　気	㈱日本レーベン			

スタッフ

監督	鈴　木　貴　博	㈱日本レーベン	トレーナー	和　田　直　樹	北海道体育大学校
コーチ	山　内　博　史	北　見　市　役　所	代表	津　軽　敦　志	札幌駅総合開発㈱
総務	山　崎　高　徳	札　幌　市　役　所			

平成２７年度大学ベストフィフティーン

No.	氏　名	学　校　名	No.	氏　名	学　校　名
1	畠山順吉	北海道大学４年	9	野村大地	北海道大学３年
2	管原勇人	札幌大学４年	10	松本巧也	道都大学２年
3	鈴木悠馬	北海道大学４年	11	築田勝大	道都大学３年
4	仲辻周次郎	北海道大学４年	12	小泉秀平	道都大学３年
5	安倍賢将	札幌大学４年	13	月野星司	北海道大学３年
6	真鍋裕也	道都大学４年	14	坂本武人	道都大学３年
7	窪野佑	北海道大学２年	15	吉賀丈太	北海道大学４年
8	佐藤弘樹	札幌大学２年			

Ⅲ　試合並びに大会結果

Ａ　北海道協会主管による大会

〇第４５回北海道ラグビーフットボール選手権大会試合結果報告

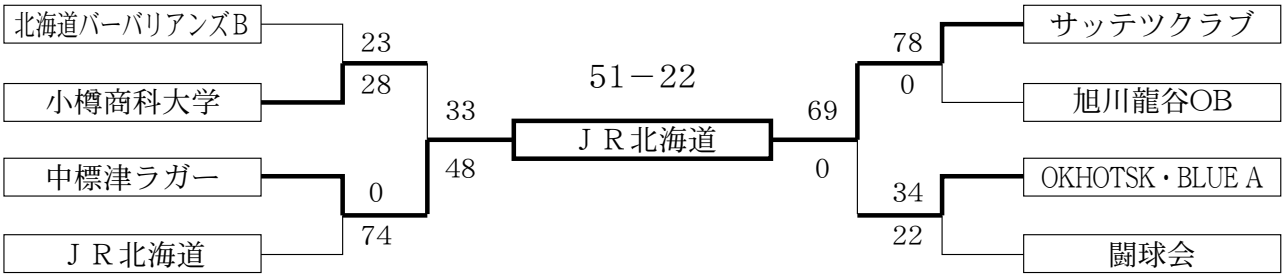
２０１５年（平成２７年）６月２０日、２１日、７月５日

野幌総合運動公園・千歳青葉公園・苫小牧緑ヶ丘公園ラグビー場

定山渓バーバリアンズグラウンド

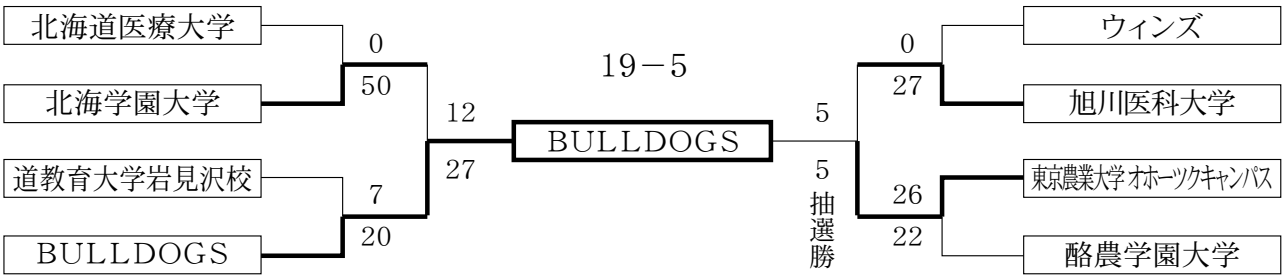
Aブロック　優勝　北海道バーバリアンズA

Bブロック　優勝　ＪＲ北海道

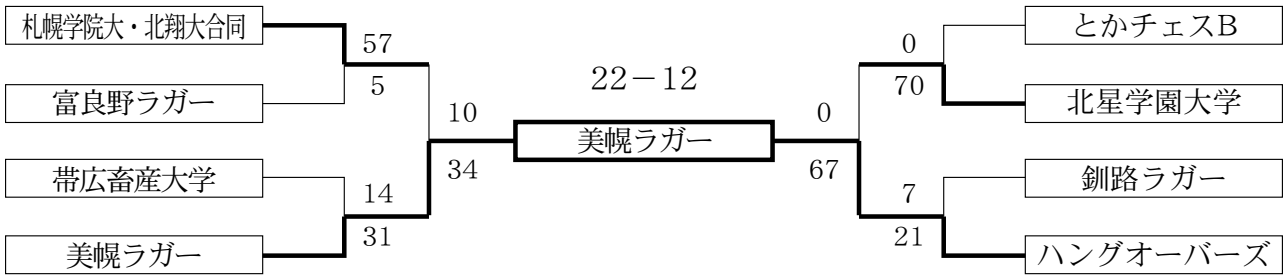


Cブロック　優勝　ウィングス　ＷＡＲＲＩＯＲＳ

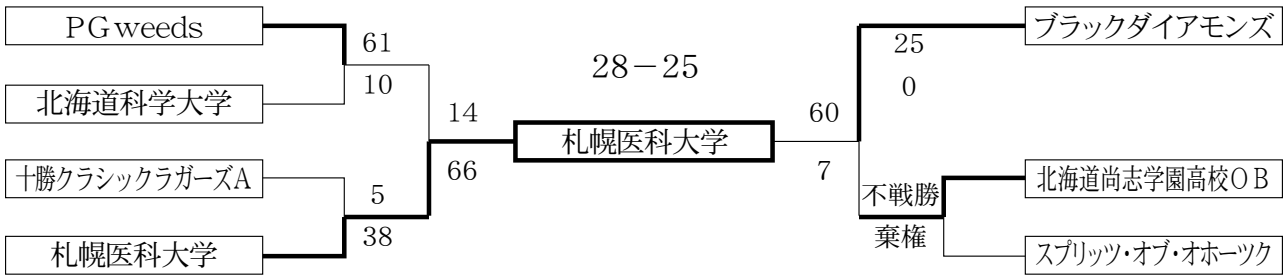
Dブロック　優勝　ＢＵＬＬＤＯＧＳ



Eブロック　優勝　美幌ラガー



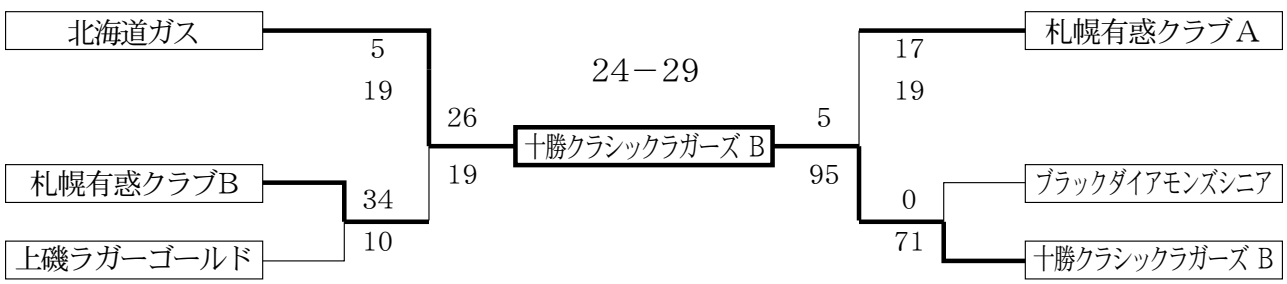
Fブロック　　優勝　札幌医療大学



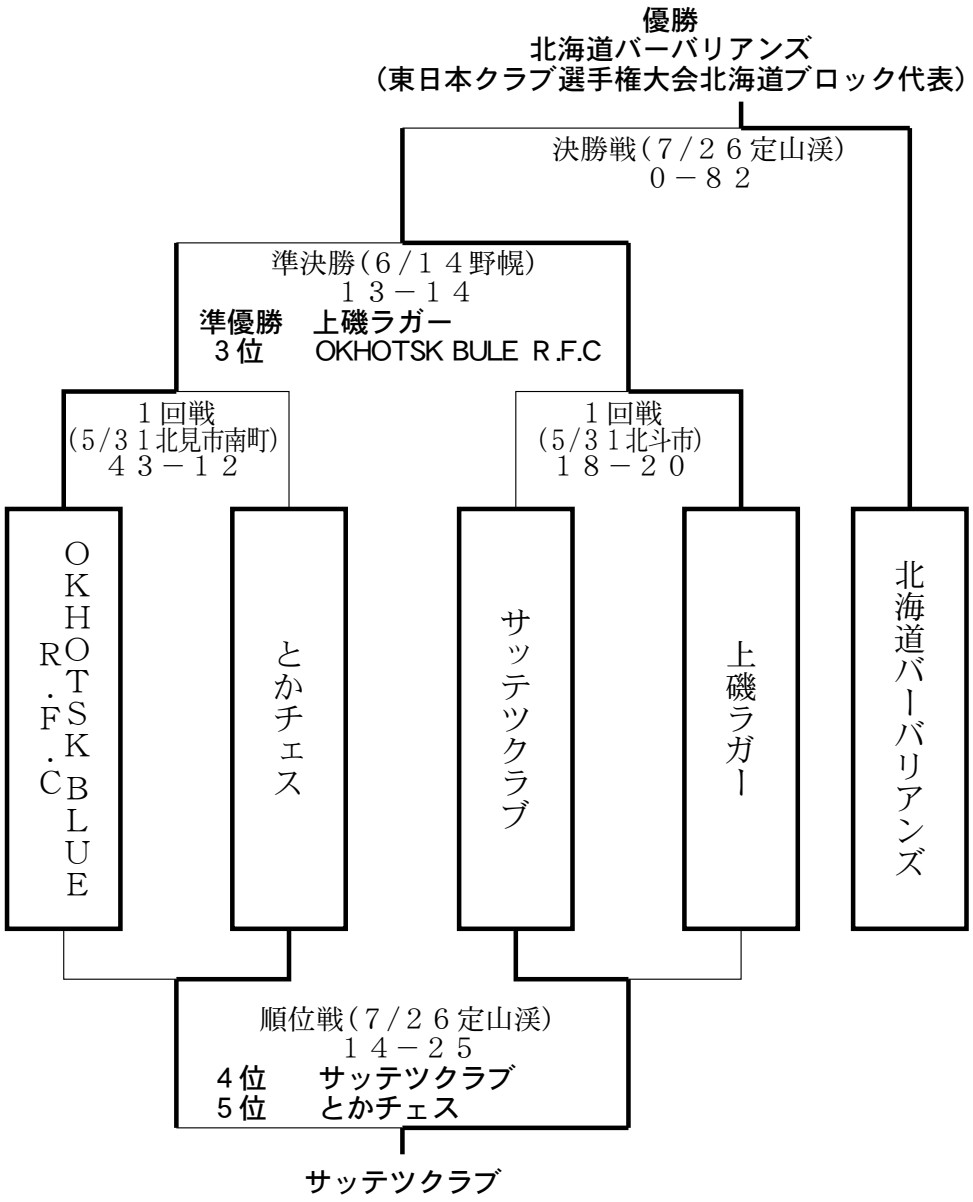
Gブロック　　優勝　函館フィールドＲＦＣ

Hブロック　優勝　札幌クラブレジェンド

Ｉブロック　優勝　旭川Old　Boys



○第４１回　北海道クラブラグビーフットボール選手権大会



【北海道チャレンジリーグ】

	ＦＡクラブ	バーバＢ	札幌クラブ	成　績
Ｆ　Ａ　ク　ラ　ブ		○７９-２２	○１３-１２	１位 （２勝）
北海道バーバリアンズＢ	8/30 11：30 定山渓		●２６-６６	３位 （２敗）
札　幌　ク　ラ　ブ	10/4 13：00 旭川市カムイの森	9/20 11：00 定山渓		２位 （１勝１敗）

【北海道トップリーグ入替戦】10月18日（十勝川河川敷）

○　とかチェス（トップトーナメント5位）　31対19　FAクラブ（チャレンジL優勝）

※サッテツクラブ（トップトーナメント4位）対札幌クラブ（チャレンジＬ2位）は実施していない。

〇2015年度春期大学交流大会

（1）2015年5月3日（日） 教育大旭川校G

教育大旭川	12－0	教育大岩見沢	(20分)
教育大釧路	0－17	旭川医大	(20分)
教育大釧路	24－0	教育大岩見沢	(20分)
教育大旭川	7－17	旭川医大	(20分)
教育大旭川	19－10	教育大釧路	(20分)
教育大岩見沢	0－24	旭川医大	(20分)

（2）2015年5月23日（土）野幌

酪農学園大	43－14	北星学園大	(40分×2)

（3）2015年5月24日（日）野幌

道都大学A	12－0	北海道大学A	(30分×2)
道都大学B	0－17	北海道大学B	(30分)
小樽商科大学	24－0	北海学園大学	(20分×2)
小樽商科大学	7－17	札学・北翔	(20分×2)
北海学園大学	19－10	札学・北翔	(20分×2)

（4）2015年5月31日（日）野幌

道都大学A	24－48	札幌大学A	(40分×2)

（5）2015年6月14日（日）千歳青葉G

道都大学	96－14	札学・北翔	(40分×2)

〇2015年度大学セブンズ大会

2015年7月26日（日）　月寒ラグビー場

2015年度大学セブンズ１部

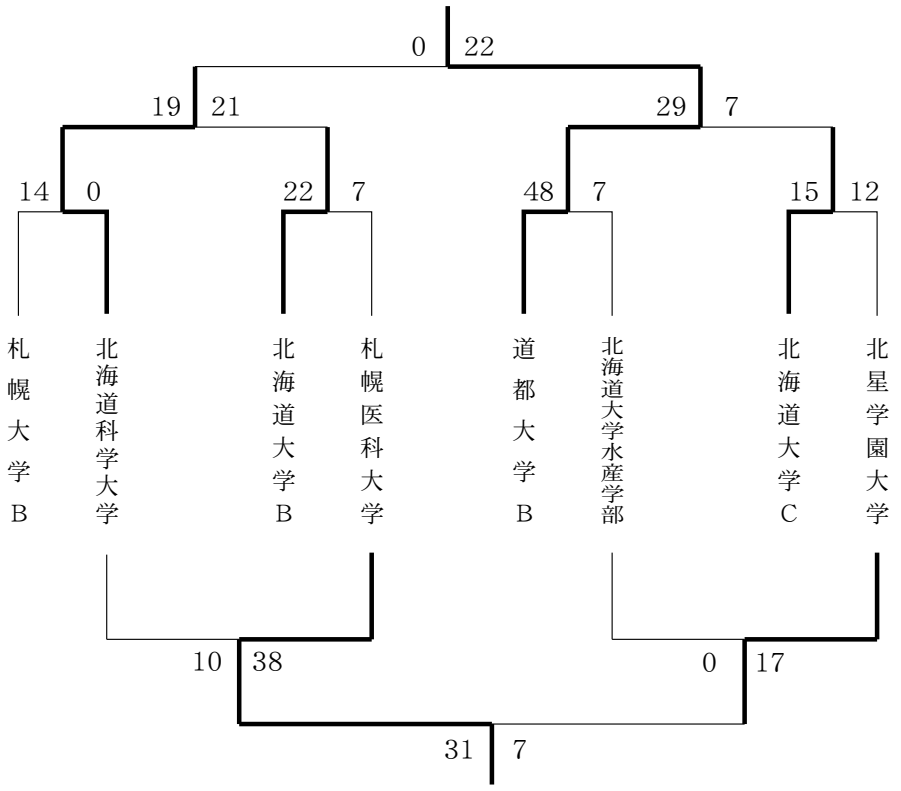
チーム名	北海道大学A	札幌大学A	道都大学A	北海道選抜
北海道大学A		○３１－５	△０－０	●０－１９
札幌大学A	●５－３１		○２４－１７	○２５－１２
道都大学A	△０－０	●１７－２４		○３１－２１
北海道選抜（特別参加）	○１９－７	●１２－２５	●２１－３１	

１部優勝決定戦

北海道大学A　５０－１７　札幌大学A

2015年度大学セブンズ２部

２部準優勝　道都大学B



２部コンソレーション優勝　札幌医科大学

順位戦　北海道科学大　２６－１４　北大水産学部
順位戦　札幌大学Ｂ　２６－１０　北海道大学C

○2015年度大学インカレ大会
2015年9月12日（土）～10月18日（日）　月寒ラグビー場他

2015年度インカレA1リーグ

チーム名	北海道大学	札幌大学	道都大学	札学・北翔	勝	負	順位
北海道大学		●１９－２１	○２９－２７	○９８－０	２	０	２位
札幌大学	○２１－１９		○１７－３５	○８２－５	２	０	３位
道都大学	●２７－２９	○３５－１７		○９２－０	２	０	１位
札幌学院大学・北翔大学合同	●０－９８	●５－８２	●０－９２		０	３	４位

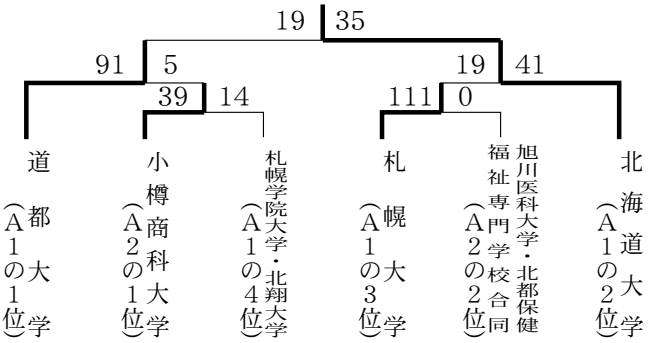
※1-3位は当該チーム間の得失点差による

2015年度インカレA2リーグ

チーム名	小樽商科大学	教育大岩見沢	旭医大・北都	教育大旭川	勝	負	順位
小樽商科大学		不戦勝	○２０－１４	○６１－１７	３	０	１位
北海道教育大学岩見沢校	不戦敗		不戦敗	不戦敗	０	３	４位
旭川医科大学・北都保健福祉専門学校合同	●１４－２０	不戦勝		○３４－１７	１	１	２位
北海道教育大学旭川校	●１７－６１	不戦勝	●１７－３４		１	２	３位

2015年度インカレ決勝トーナメント

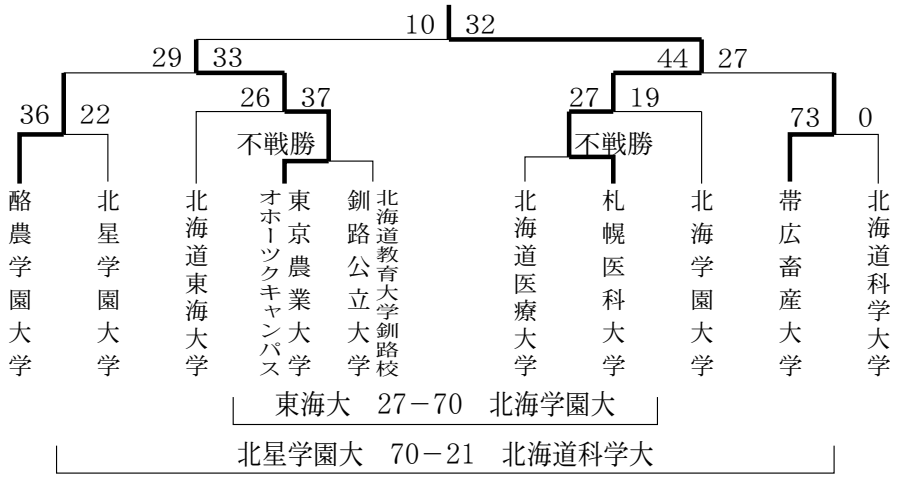
優勝　北海道大学
準優勝　道都大学



札幌学院大・北翔大合同チームはＡ1に昇格
小樽商大はＡ２に降格

2015年度インカレBトーナメント

Ｂ優勝　札幌医療大学



Ａ２，Ｂ入替戦

※Ｂ１位の札幌医科大学はＡ２に昇格。北海道教育大岩見沢校はBに降格。
　東京農業大学オホーツクキャンパス（Ｂの２位）46-12　北海道教育大学旭川校（Ａ２の３位）
※Ｂ２位の東京農業大学オホーツクキャンパスはＡ２に昇格。北海道教育大学旭川校はBに降格。
エキシビションマッチ　札幌医科大学　54-29　学連選抜

○第２回全国高校７人制大会北海道予選（バーバリアンズ定山渓グラウンド）　2015/6/6(土)
予選リーグ

（Ａグラウンド）　予選プールＡ

	札幌山の手高校	函館工業高校	小樽桜陽高校	勝ち点	順　位
札幌山の手高　校		○ ４３－０	○ ４０－０	6	1
函館工業高　校	× ０－４３		○ ２７－７	4	2
小樽桜陽高　校	× ０－４０	× ７－２７		2	3

（Ａグラウンド）　予選プールＢ

	函館ラサール	富良野高校	立命館慶祥高校	勝ち点	順　位
函館ラサール高　校		○ ３５－５	○ １９－１２	6	1
富良野高　校	× ５－３５		× １４－２５	2	3
立命館慶祥高校	× １２－１９	○ ２５－１４		4	2

（Ｂグラウンド）　予選プールＣ

	北見北斗高校	帯広工業高校	芦別高校	勝ち点	順　位
北見北斗高　校		○ １４－７	○ ３５－１２	6	1
帯広工業高　校	× ７－１４		○ ２４－１４	4	2
芦別高校	× １２－３５	× １４－２４		2	3

（Ａグラウンド） カップリーグ

	札幌山の手高校	北見北斗高校	函館ラサール	勝ち点	順　位
札幌山の手高　　校		○ ２６－５	○ ３３－５	6	1
北見北斗高　　校	× ５－２６		× １７－２６	2	3
函館ラサール高　　校	× ５－３３	○ ２６－１７		4	2

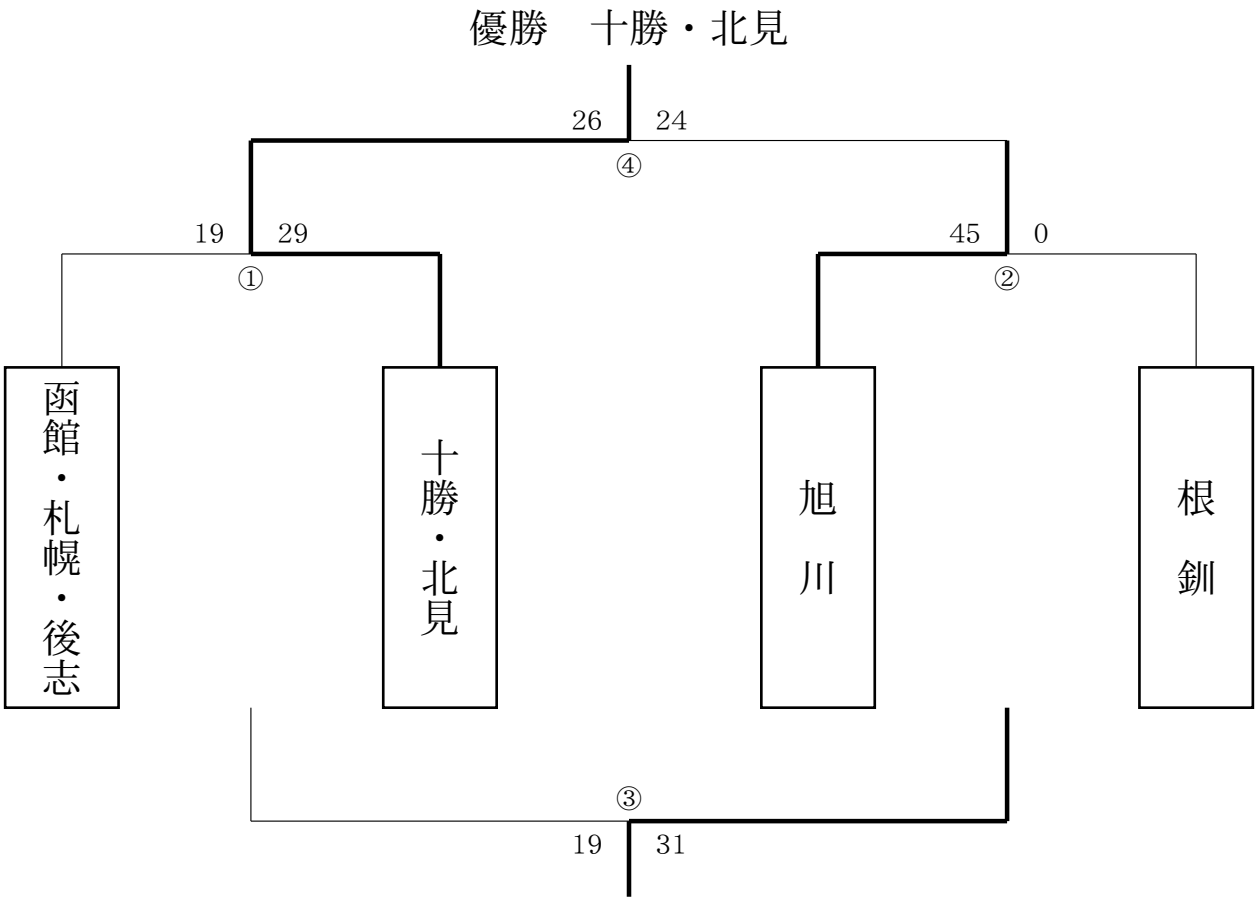
（Ａグラウンド） プレートリーグ

	函館工業高校	立命館慶祥高校	函館工業高校	勝ち点	順　位
函館工業高　　校		× １４－２７	× ０－４１	2	3
立命館慶祥　高　校	○ ２７－１４		○ ２８－７	6	1
函館工業高　　校	○ ４１－０	× ７－２８		3	2

（Ｂグラウンド） ボウルリーグ

	小樽桜陽高校	富良野高校	芦　別　高　校	勝ち点	順　位
小樽桜陽高　　校		× ０－３３	○ １９－７	3	2
富　良　野高　　校	○ ３３－０		○ ３５－１２	6	1
芦別高校	× ７－１９	× １２－３５		2	3

〇平成27年度北海道高等学校合同チームラグビーフットボール大会結果
※すべて30分ハーフ



○平成２７年度北海道体育大会
兼 第７０回国民体育大会ラグビーフットボール競技（少年男子の部）北海道予選会
平成２７年６月１８日・１９日　於　帯広の森ラグビー場

U－17

	函館	札幌	十勝・根釧	北見	旭川・富良野	勝点	順位
函館		× 0 － 78	○ 19 － 5	× 5 － 26	× 0 － 61	4	4
札幌	○ 78 － 0		○ 83 － 0	○ 45 － 0	○ 46 － 0	20	1
十勝・根釧	× 5 － 19	× 0 － 83		× 14 － 22	× 0 － 38	0	5
北見	○ 26 － 5	× 0 － 45	○ 22 － 14		× 7 － 14	11	3
旭川・富良野	○ 61 － 0	× 0 － 46	○ 38 － 0	○ 14 － 7		14	2

U－18 Aブロック

	十勝・根釧	北見	旭川・富良野	勝点	順位
十勝・根釧		× 7 － 29	○ 22 － 0	5	2
北見	○ 29 － 7		○ 50 － 0	10	1
旭川・富良野	× 7 － 22	× 0 － 50		0	3

U－18 Bブロック

	小樽・空知	函館	札幌	勝点	順位
小樽・空知		× 0 － 49	× 0 － 69	0	3
函館	○ 49 － 0		× 7 － 33	5	2
札幌	○ 69 － 0	○ 33 － 7		10	1

６月１９日（金）

第１試合	１０時３０分	旭川・富良野 ／ 小樽・空知　６９ － ０
第２試合	１１時５０分	十勝・根釧 ／ 函館　１７ － ３１
第３試合	１３時１０分	北見 ／ 札幌　２８ － １９

○第４２回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会

７／２６（日）　予選リーグ

プール	チーム名	山の手	遠軽	小樽桜陽	勝敗	順位	備考
A	山の手		45 ○ 0	80 ○ 0	2勝	1	
	遠軽	0 × 45		61 ○ 0	1勝1敗	2	
	小樽桜陽	0 × 80	0 × 61		2敗	3	

プール	チーム名	つくば秀英	立命館慶祥	帯広工	勝敗	順位	備考
B	つくば秀英		12 ○ 0	5 ○ 0	2勝	1	
	立命館慶祥	0 × 12		31 ○ 12	1勝1敗	2	
	帯広工	0 × 5	12 × 31		2敗	3	

プール	チーム名	科学技術	芦別	旭川工業	勝敗	順位	備考
C	科学技術		83 ○ 0	29 ○ 5	2勝	1	
	芦別	0 × 83		0 × 51	2敗	3	
	旭川工業	5 × 29	51 ○ 0		1勝1敗	2	

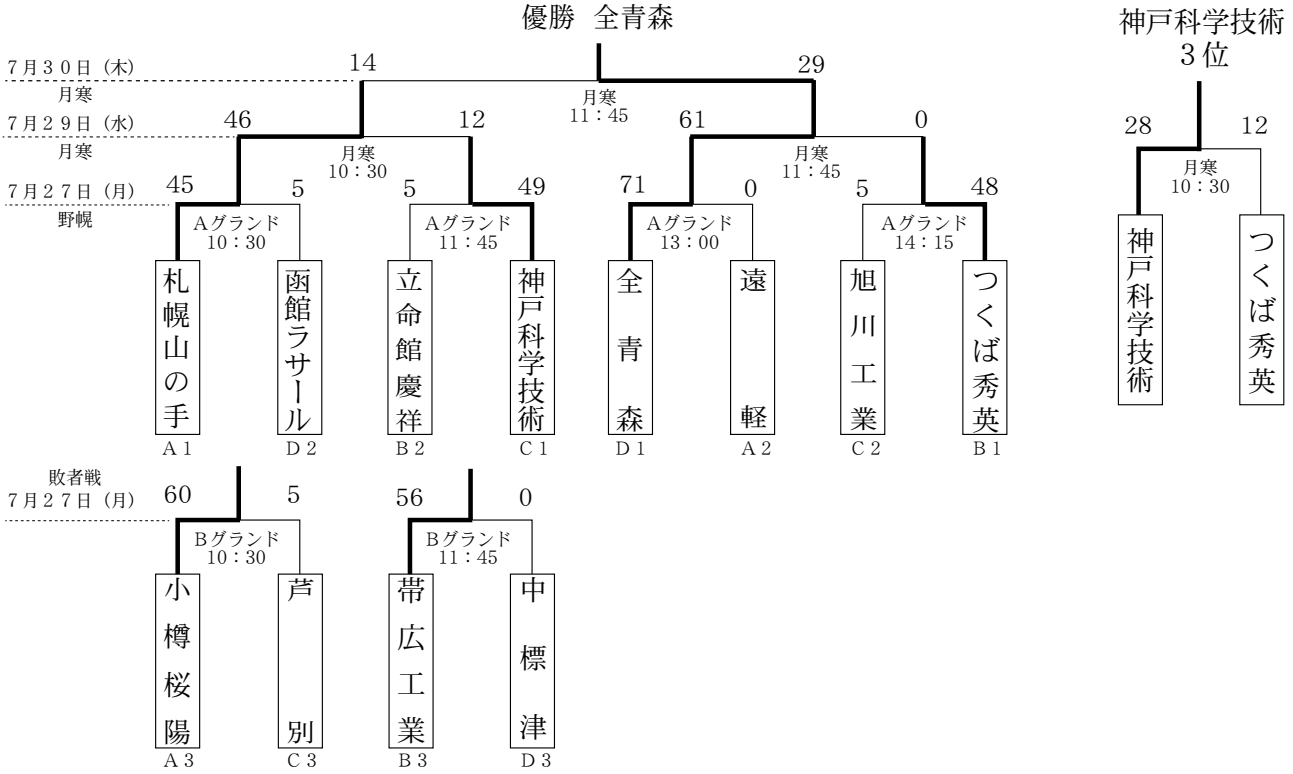
プール	チーム名	全青森	函ラサール	中標津	勝敗	順位	備考
D	全青森		31 ○ 0	62 ○ 0	2勝	1	
	函ラサール	0 × 31		19 ○ 10	1勝1敗	2	
	中標津	0 × 62	10 × 19		2敗	3	

○第４２回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会

期　日　平成２７年７月２７日・２９日・30日

会　場　野幌運動公園・月寒ラグビー場

決勝トーナメント



○第２５回北海道高等学校１年生Ｕ１６ラグビーフットボール大会　北見市南町河川敷ラグビー場

【決勝】８月１０日～１１日

予選Ａグループ（Ａグラウンド）

	北見選抜	小樽・月寒・野幌	旭川工業・龍谷	順位
北見選抜		①26－0	③29－0	1
小樽・月寒・野幌			⑤19－5	2
旭川工業・龍谷	0－29	5－19		3

予選Ｂグループ（Ａグラウンド）

	三重稲生	函館選抜	札幌厚別・清田	順位
三重稲生		②0－19	④14－7	2
函館選抜	19－0		⑥57－0	1
札幌厚別・清田	7－14	0－57		3

予選Ｃグループ（Ｂグラウンド）

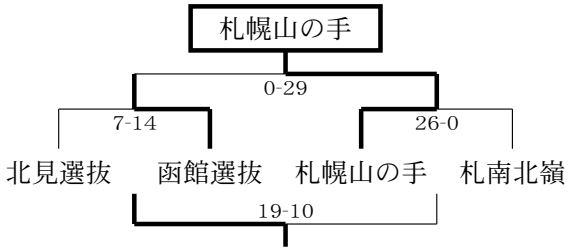
	札幌山の手	十勝選抜	大麻・立命館慶祥	順位
札幌山の手		①31－0	③17－0	1
十勝選抜	0－31		⑤5－12	3
大麻・立命館慶祥	12－5	0－17		2

予選Ｄグループ（Ｂグラウンド）

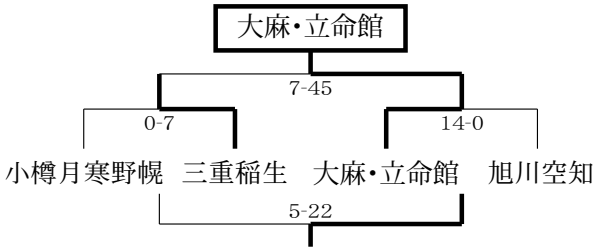
	札幌南・北嶺	根釧選抜	旭川・空知	順位
札幌南・北嶺		②24－0	④10－7	1
根釧選抜	0－24		⑥5－21	3
旭川・空知	7－10	21－5		2

2015　Ｕ１６ラグビーフットボール大会　２日目順位トーナメント

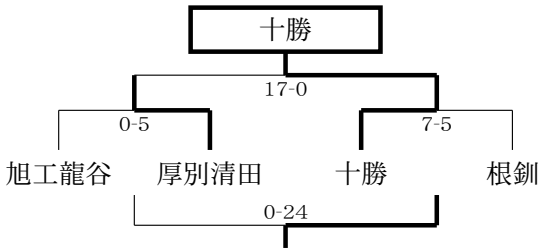
■１位トーナメント（Ａグラウンド）



■２位トーナメント（敗者戦のみＢグラウンド）



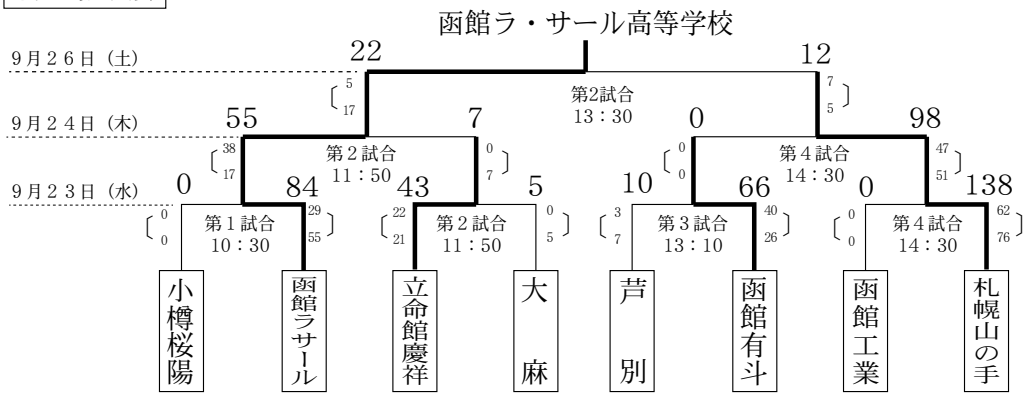
■３位トーナメント（Ｂグラウンド）



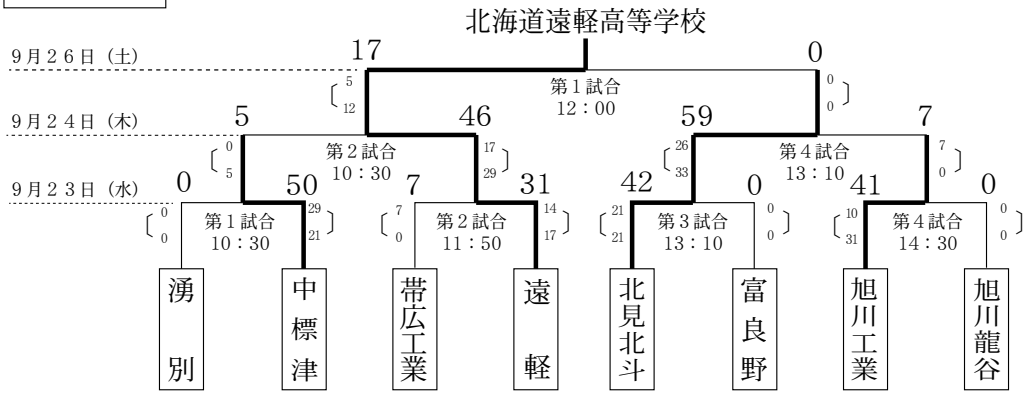
○第６８回北海道高等学校ラグビーフットボール南・北選手権大会
兼第９５回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会会大会結果表

期　日　　平成２７年９月２３日・２４日・２６日
会　場　　函館フットボールパーク，函館市根崎ラグビー場
当番校　　北海道函館工業高等学校

南北海道大会

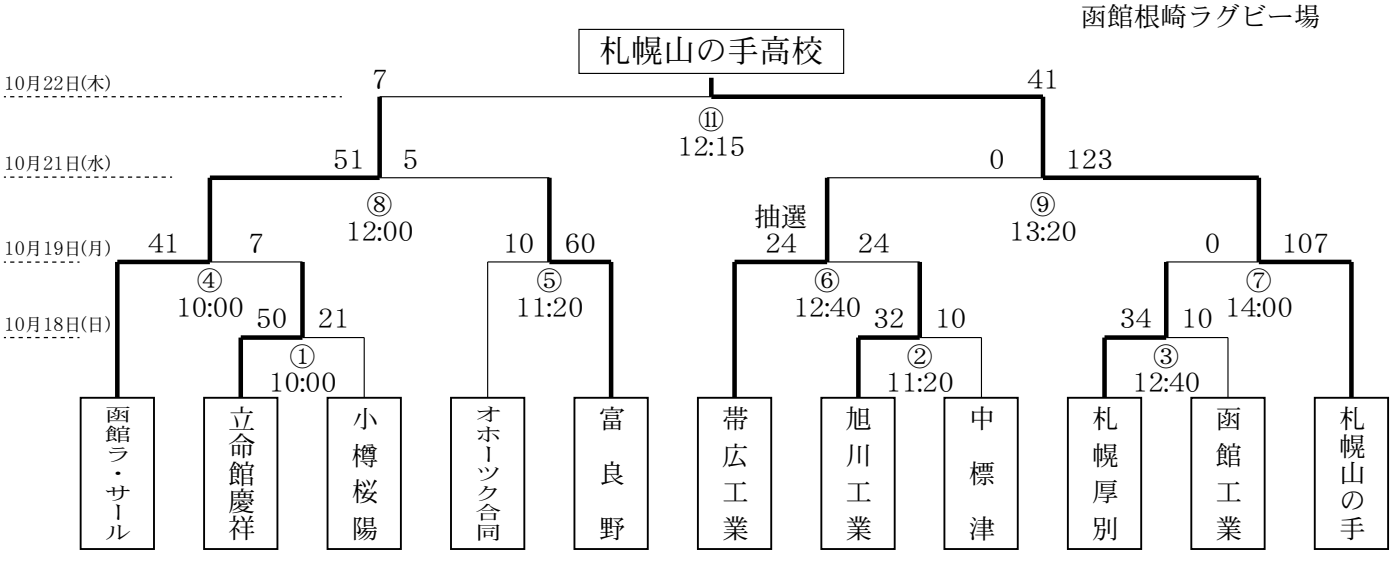


北北海道大会



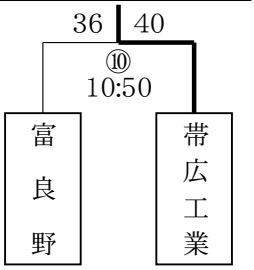
○第２７年度　第２３回北海道高等学校ラグビーフットボール新人大会
兼第１７回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会北海道予選大会

函館根崎ラグビー場



10月22日(木)

帯広工業



10月19日(月)

敗者戦

	小樽桜陽	オホーツク合同	函館工業
小樽桜陽		１７-１４	１２-１２
オホーツク合同	１４-１７		7-３５
函館工業	１２-１２	３５-7	

○第６回北海道ラグビーフットボール中学校夏季大会

	函館ラ・サール	立命館慶祥	北嶺	順位
函館ラ・サール		③７/５ 10:00 ８５ ○ ０	②７/４ 15:00 141 ○ １０	1
立命館慶祥	③７/５ 10:00 ０ × ８５		①７/３ 15:00 ２４ △ ２４	2
北嶺	②７/４ 15:00 ０ × 141	①７/３ 15:00 ２４ △ ２４		3

①リーグ戦　第１試合
７月３日　　１５:００　　月寒G

函館ラ・サール		対	北嶺	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
2	2	T	2	2
1	1	G	1	1
0	0	ＰG	0	0
0	0	ＤG	0	0
12	12	計	12	12
２４		合計	２４	
0	0	反則	0	0
0			0	

②リーグ戦　第２試合
７月５日　　１５:００　　根崎G

函館ラ・サール		対	北嶺	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
10	11	T	0	0
10	8	G	0	0
0	0	ＰG	0	0
0	0	ＤG	0	0
70	71	計	0	0
１４１		合計	0	
0	0	反則	0	0
0			0	

③リーグ戦　第３試合
７月５日　　１０:００　　月寒G

函館ラ・サール		対	北嶺	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
8	5	T	0	0
6	4	G	0	0
0		ＰG	0	0
0		ＤG	0	0
52	33	計	0	0
８５		合計	0	
0	0	反則	0	0
0			0	

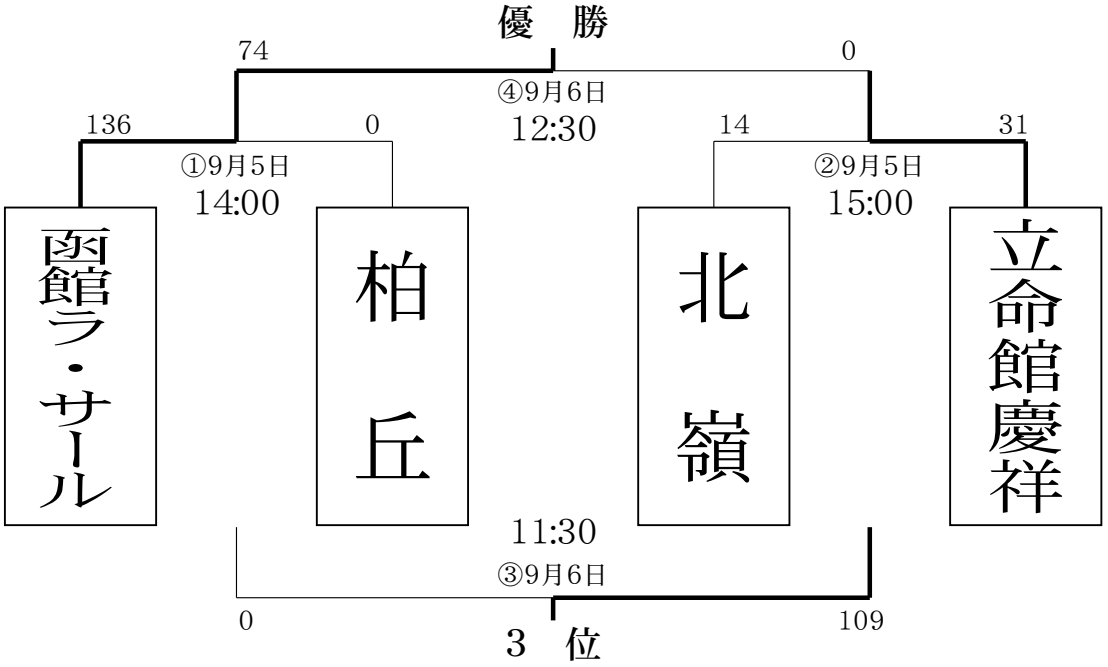
函館ラ・サール				
勝	負	分	点差	トライ
2	0	0	+266	34

立命館慶祥				
勝	負	分	点差	トライ
1	1	1	−85	4

北嶺				
勝	負	分	点差	トライ
0	1	1	−141	4

太陽生命カップ２０１５　第６回全国中学生ラグビーフットボール大会
北海道・東北地区予選
期日：平成２７年８月２２日(土)～８月２３日(日)
会場：岩手県営運動公園サッカー・ラグビー場
８月２２日(土)
　14:00　山形市立第一中(山形県) 0-21 滝沢南中(岩手県)
　15:30　将軍野中(秋田県) 40-10 函館ラ・サール中(北海道)
８月２３日(日)
　10:00　３位決定戦
山形市立第一中(山形県) 0-75 函館ラ・サール中(北海道)
　11:30　決勝戦
滝沢南中(岩手県) 7-50 将軍野中(秋田県)
優勝：将軍野中学校

○第３４回北海道ラグビーフットボール中学校大会



①準決勝　第１試合 ９月５日　１４:００ＫＯ　月寒Ｇ				
函館ラ・サール		対	柏丘	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
9	11	Ｔ	0	0
8	10	Ｇ	0	0
0	0	ＰＧ	0	0
0	0	ＤＧ	0	0
61	75	計	0	0
１３６		合計	0	
0	0	反則	0	2
0			2	

①準決勝　第２試合 ９月５日　１５:００ＫＯ　根崎Ｇ				
北嶺		対	立命館慶祥	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
1	1	Ｔ	2	3
1	1	Ｇ	1	2
0	0	ＰＧ	0	0
0	0	ＤＧ	0	0
7	7	計	12	19
１４		合計	３１	
1	3	反則	2	4
4			6	

③三位決定戦 ９月６日　１１:３０ＫＯ　根崎Ｇ				
柏丘		対	北嶺	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
0	0	Ｔ	9	8
0	0	Ｇ	7	5
0	0	ＰＧ	0	0
0	0	ＤＧ	0	0
0	0	計	59	50
0		合計	１０９	
2	2	反則	0	0
4			0	

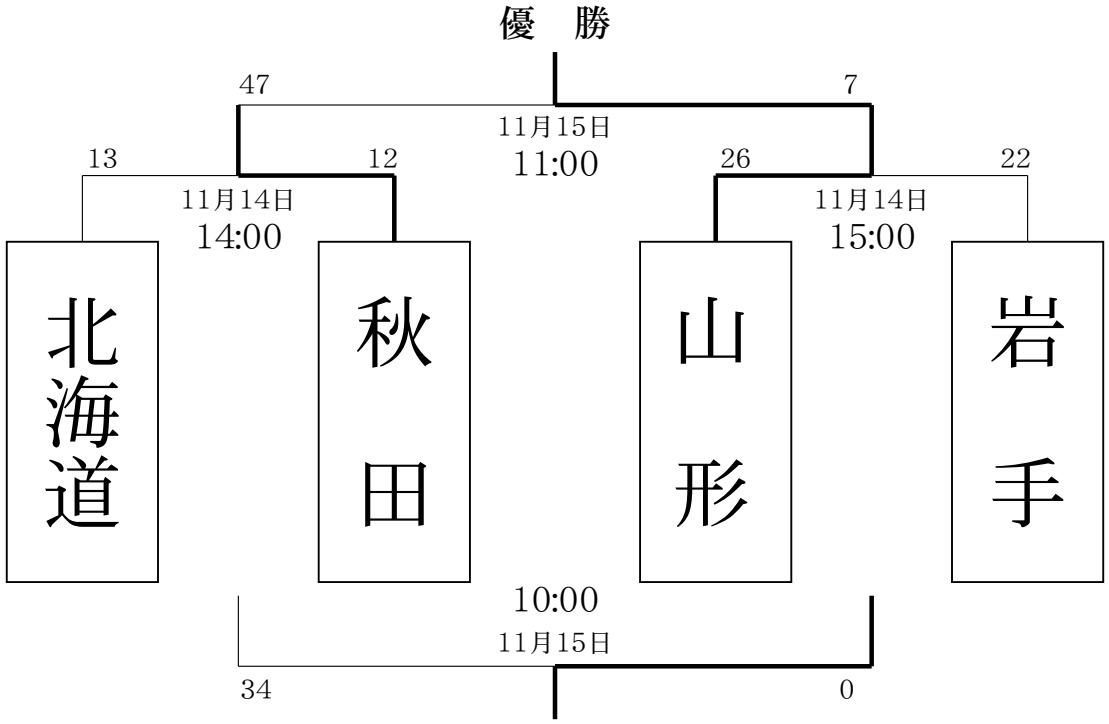
④決勝戦 ９月６日　１２:３０ＫＯ　根崎Ｇ				
函館ラ・サール		対	立命館慶祥	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
6	6	Ｔ	0	0
4	3	Ｇ	0	0
0	0	ＰＧ	0	0
0	0	ＤＧ	0	0
38	36	計	0	0
７４		合計	0	
1	1	反則	2	0
2			2	

○第３５回東日本中学生ラグビーフットボール大会
北海道東北代表予選

会場：北海道函館根崎ラグビー場

１０月１０日　準決勝　滝沢南中学校(岩手) 29－19 山形第一中学校 (山形)
将軍野中学校 (秋田) 20－14 函館ラ・サール中学校 (北海道)
１１日　３位決定戦　山形第一中学校 (山形) 0－42 函館ラ・サール中学校 (北海道)
決　勝　滝沢南中学校(岩手) 0-46 将軍野中学校 (秋田)

○第２１回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会
　北海道・東北代表決定戦



準決勝　第１試合 １１月１４日　１４:００　20分ハーフ				
北海道		対	秋田	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
	2	T	1	1
		G	1	
1		ＰＧ		
		ＤＧ		
3	10	計	7	5
１３		合計	１２	
2	8	反則	2	5
１０			7	

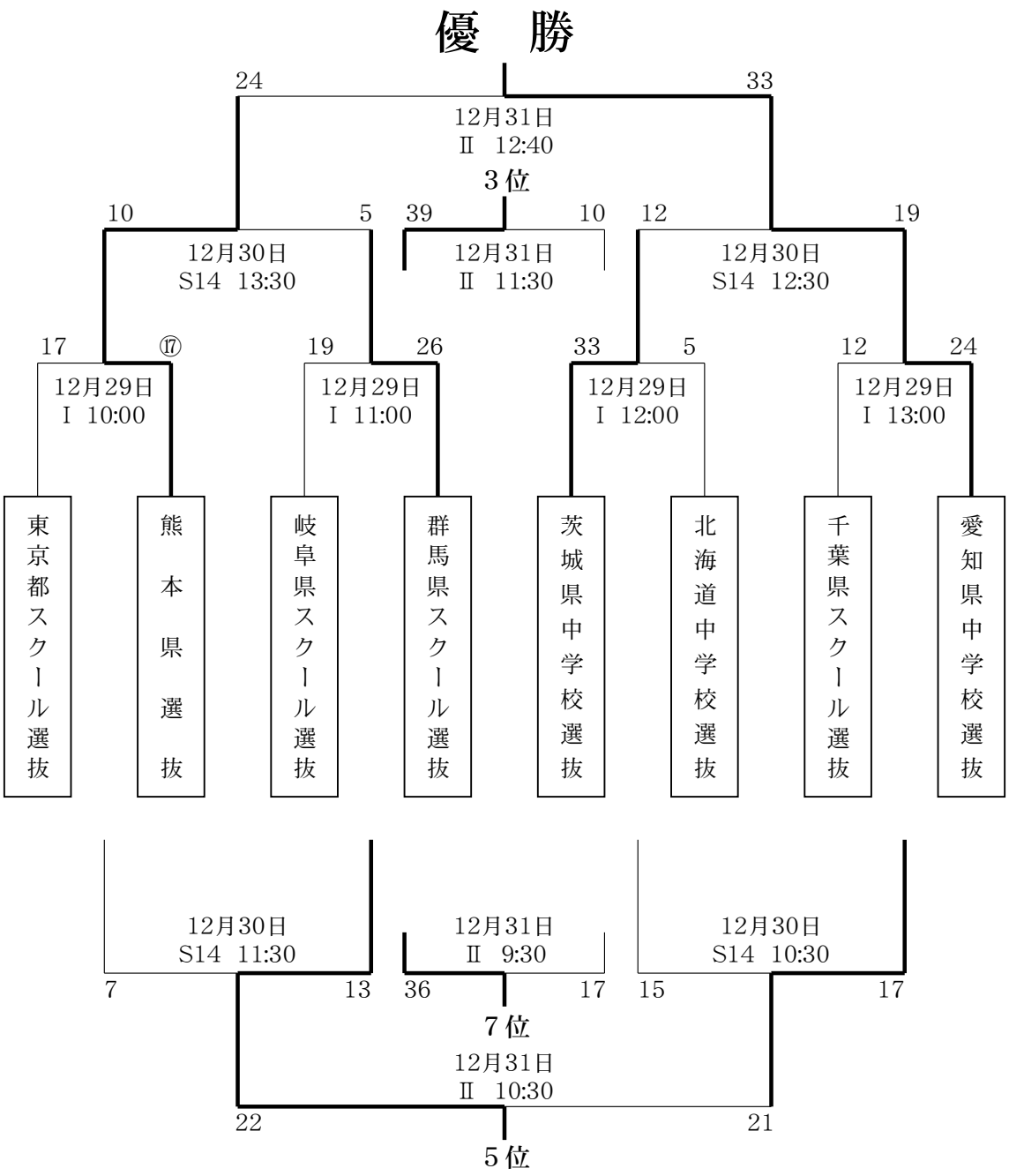
準決勝　第２試合 １１月１４日　１５:００　20分ハーフ				
山形		対	岩手	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
1	3	T	1	3
1	2	G	1	
		ＰＧ		
		ＤＧ		
7	19	計	7	15
２６		合計	２２	
5	1	反則	5	1
6			6	

三位決定戦 １１月１５日　１０:００　20分ハーフ				
秋田		対	岩手	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
2	4	T		
	2	G		
		ＰＧ		
		ＤＧ		
10	24	計	0	0
３４		合計	0	
		反則	0	2
5			2	

決勝戦 １１月１５日　１１:００　20分ハーフ				
北海道		対	山形	
後　半	前　半	ハーフ	前　半	後　半
2	5	T		1
2	4	G		1
		ＰＧ		
		ＤＧ		
14	33	計	0	7
４７		合計	7	
1	0	反則	0	2
1			2	

○第２１回 全国ジュニア・ラグビーフットボール大会
【第２ブロック】

Ⅰ：花園第１グラウンド
Ⅱ：花園第３グラウンド
S14：Jgreen第14フィールド



第２７回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー(低学年)組み合わせ

９月２０日(日) 試合時間 ５分－３分－５分

グループＡ

チーム名	函館ＲＳ Ｂ	札幌ＲＳ	北海道ＢＢＪｒ．Ａ	勝　敗	順　位
函館ＲＳ Ｂ		30 － 5	5 － 15	１勝１敗	2
札幌ＲＳ	5 － 30		0 － 40	２敗	3
北海道ＢＢＪｒ．Ａ	15 － 5	40 － 0		２勝	1

グループＢ

チーム名	美幌ＲＳ･ＳＰＯ･旭川ＲＳ	帯広ＲＳ	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	勝　敗	順　位
美幌ＲＳ･ＳＰＯ･旭川ＲＳ		30 － 15	30 － 0	２勝	1
帯広ＲＳ	15 － 30		30 － 5	１勝１敗	2
北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	0 － 30	5 － 30		２敗	3

グループＣ

チーム名	小樽ＲＳ	遠軽ＲＳ	山の手ＲＳ	函館ＲＳ Ａ	勝　敗	順　位
小樽ＲＳ		15 － 10	50 － 0	35 － 5	２勝１敗	1
遠軽ＲＳ	10 － 15		30 － 0	10 － 10	１勝１敗１分	2
山の手ＲＳ	0 － 50	0 － 30		0 － 40	３敗	4
函館ＲＳ Ａ	5 － 35	10 － 10	40 － 0		１勝１敗１分	3

時　間	チーム名	得　点	チーム名
① 12:30～12:43	函館ＲＳ Ｂ	30 － 5	札幌ＲＳ
② 12:45～12:58	遠軽ＲＳ	30 － 0	山の手ＲＳ
③ 13:00～13:13	美幌ＲＳ･ＳＰＯ･旭川ＲＳ	30 － 0	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ
④ 13:15～13:28	旭川ＲＳ･ＳＰＯ	－	札幌ＲＳ・帯広ＲＳ
⑤ 13:30～13:43	小樽ＲＳ	50 － 0	山の手ＲＳ
⑥ 13:45～13:58	遠軽ＲＳ	10 － 10	函館ＲＳ Ａ
⑦ 14:00～14:13	札幌ＲＳ	0 － 40	北海道ＢＢＪｒ．Ａ
⑧ 14:15～14:28	函館ＲＳ Ａ	－	小樽ＲＳ・ＢＢＪｒ．
⑨ 14:30～14:43	美幌ＲＳ･ＳＰＯ･旭川ＲＳ	30 － 15	帯広ＲＳ
⑩ 14:45～14:58	小樽ＲＳ	15 － 10	遠軽ＲＳ
⑪ 15:00～15:13	山の手ＲＳ	0 － 40	函館ＲＳ Ａ
⑫ 15:15～15:28	函館ＲＳ Ｂ	－	合同
⑬ 15:30～15:43	函館ＲＳ Ｂ	5 － 15	北海道ＢＢＪｒ．Ａ
⑭ 15:45～15:58	帯広ＲＳ	30 － 5	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ
⑮ 16:00～16:13	小樽ＲＳ	35 － 5	函館ＲＳ Ａ

※勝率が同率の場合、直接対戦における勝者チームを、次に総得失点差により順位を決定します
※上記も同一の場合は抽選とします

第２７回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー（小学年）組み合わせ

９月２１日（月） 試合時間 ５分－３分－５分

カップリーグ

チーム名	北海道ＢＢＪｒ．Ａ	美幌ＲＳ・ＳＰＯ・旭川ＲＳ	小樽ＲＳ	勝　敗	順　位
北海道ＢＢＪｒ．Ａ		5 － 15	10 － 20	２敗	3
美幌ＲＳ・ＳＰＯ・旭川ＲＳ	15 － 5		10 － 0	２勝	1
小樽ＲＳ	20 － 10	0 － 10		１勝１敗	2

プレートリーグ

チーム名	函館ＲＳ Ｂ	帯広ＲＳ	遠軽ＲＳ	勝　敗	順　位
函館ＲＳ Ｂ		0 － 30	5 － 20	２敗	3
帯広ＲＳ	30 － 0		25 － 10	２勝	1
遠軽ＲＳ	20 － 5	10 － 25		１勝１敗	2

ボウルリーグ

チーム名	札幌ＲＳ	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	函館ＲＳ Ａ	山の手ＲＳ	勝　敗	順　位
札幌ＲＳ		0 － 20	0 － 20	5 － 10	３敗	4
北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	20 － 0		5 － 20	15 － 5	２勝１敗	2
函館ＲＳ Ａ	20 － 0	20 － 5		40 － 0	３勝	1
山の手ＲＳ	10 － 5	5 － 15	0 － 40		１勝２敗	3

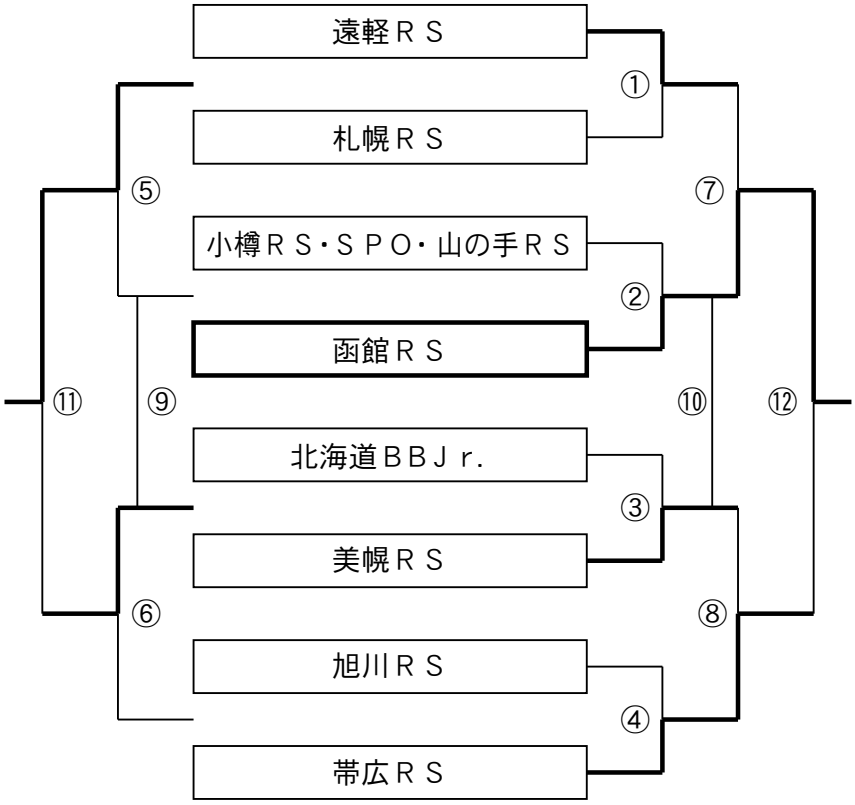
時　間	チーム名	得　点	チーム名
① 9:00～ 9:13	北海道ＢＢＪｒ．Ａ	5 － 15	美幌ＲＳ・ＳＰＯ・旭川ＲＳ
② 9:15～ 9:28	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	5 － 20	函館ＲＳ Ａ
③ 9:30～ 9:43	函館ＲＳ Ｂ	5 － 20	遠軽ＲＳ
④ 9:45～ 9:58	函館ＲＳ Ｂ	－	札幌ＲＳ・帯広ＲＳ
⑤ 10:00～10:13	札幌ＲＳ	0 － 20	函館ＲＳ Ａ
⑥ 10:15～10:28	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ	15 － 5	山の手ＲＳ
⑦ 10:30～10:43	美幌ＲＳ・ＳＰＯ・旭川ＲＳ	10 － 0	小樽ＲＳ
⑧ 10:45～10:58	小樽ＲＳ・ＢＢＪｒ．	－	旭川ＲＳ・ＳＰＯ
⑨ 11:00～11:13	函館ＲＳ Ｂ	0 － 30	帯広ＲＳ
⑩ 11:15～11:28	札幌ＲＳ	0 － 20	北海道ＢＢＪｒ．Ｂ
⑪ 11:30～11:43	函館ＲＳ Ａ	40 － 0	山の手ＲＳ
⑫ 11:45～11:58	函館ＲＳ Ａ	－	合同
⑬ 12:00～12:13	北海道ＢＢＪｒ．Ａ	10 － 20	小樽ＲＳ
⑭ 12:15～12:28	帯広ＲＳ	25 － 10	遠軽ＲＳ
⑮ 12:30～12:43	札幌ＲＳ	5 － 10	山の手ＲＳ

※勝率が同率の場合、直接対戦における勝者チームを、次に総得失点差により順位を決定します
※上記も同一の場合は抽選とします

優　勝　美幌ラグビー少年団・スピリッツオブオホーツク・旭川少年ラグビースクール
準優勝　小樽ラグビースクール
３　位　北海道バーバリアンズジュニアＡ

第２７回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー（中学年）組み合わせ

試合時間　１２分－３分ー１２分



※勝率が同率の場合、直接対戦における勝者チームを、次に総得失点差により順位を決定します
※上記も同一の場合は抽選とします

９月２０日（日）

試合番号	時　間	チーム名	得　点	チーム名
①	12:30～12:57	遠軽ＲＳ	25 － 10	札幌ＲＳ
②	13:00～13:27	函館ＲＳ	50 － 0	小樽ＲＳ・ＳＰＯ・山の手ＲＳ
③	13:30～13:57	北海道ＢＢＪｒ.	15 － 15	美幌ＲＳ
④	14:00～14:27	旭川ＲＳ	10 － 40	帯広ＲＳ
⑤	14:30～14:57	札幌ＲＳ	60 － 0	小樽ＲＳ・ＳＰＯ・山の手ＲＳ
⑥	15:00～15:27	ＢＢＪｒ.	35 － 15	旭川ＲＳ

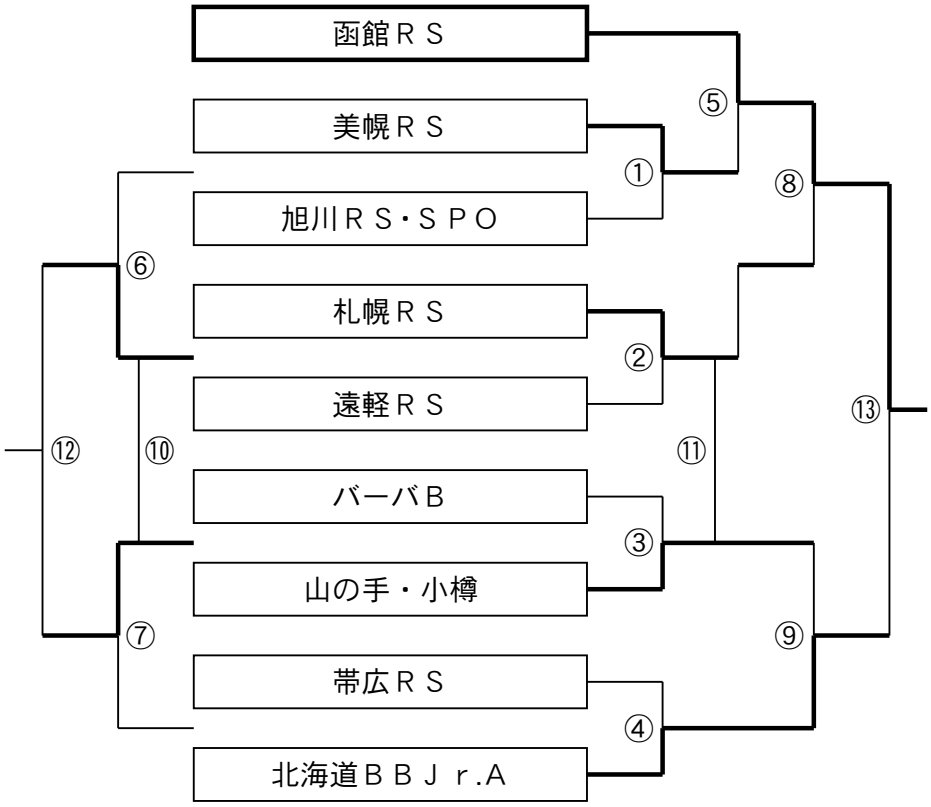
９月２１日（月）

試合番号	時　間	チーム名	得　点	チーム名
⑦	9:00～ 9:27	遠軽ＲＳ	17 － 46	函館ＲＳ
⑧	9:30～ 9:57	美幌ＲＳ	0 － 87	帯広ＲＳ
⑨	10:00～10:27	小樽ＲＳ・ＳＰＯ・山の手ＲＳ	30 － 17	旭川ＲＳ
⑩	10:30～10:57	遠軽ＲＳ	24 － 24	美幌ＲＳ
⑪	11:00～11:27	札幌ＲＳ	55 － 26	ＢＢＪｒ.
⑫	11:30～11:57	函館ＲＳ	－	帯広ＲＳ

優　勝　函館ラグビースクール
準優勝　帯広少年ラグビースクール
３　位　遠軽ラグビースクール

第２７回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー(高学年)結果

試合時間　１５分－３分ー１５分



９月２０日(日)

試合番号	時　間	チーム名	得　点	チーム名
①	12:30～13:03	美幌ＲＳ	84 － 0	旭川ＲＳ・ＳＰＯ
②	13:05～13:38	札幌ＲＳ	74 － 0	遠軽ＲＳ
③	13:40～14:13	バーバＢ	17 － 35	山の手ＲＳ・小樽ＲＳ
④	14:15～14:48	北海道ＢＢＪｒ.Ａ	84 － 0	帯広ＲＳ
⑤	14:50～15:23	函館ＲＳ	97 － 0	美幌ＲＳ
⑥	15:25～15:58	旭川ＲＳ・ＳＰＯ	40 － 40	遠軽ＲＳ
⑦	16:00～16:33	バーバＢ	70 － 0	帯広ＲＳ

９月２１日(月)　組合せの間違いにより⑤の敗者が２日に無試合となることから
⑩及び⑫それぞれの該当チームに⑤の敗者を加え１３分の総当たり戦に変更

試合番号	時　間	チーム名	得　点	チーム名
⑧	9:00～ 9:33	函館ＲＳ	42 － 0	札幌少年ＲＳ
⑨	9:35～10:08	山の手ＲＳ・小樽ＲＳ	5 － 91	バーバＡ
⑩	10:10～10:23	旭川ＲＳ・ＳＰＯ	12 － 24	美幌ＲＳ
⑩	10:25～10:38	美幌ＲＳ	0 － 37	帯広ＲＳ
⑩	10:40～10:53	旭川ＲＳ・ＳＰＯ	14 － 19	帯広ＲＳ
⑪	10:55～11:28	札幌ＲＳ	49 － 0	山の手ＲＳ・小樽ＲＳ
⑫	11:30～11:43	美幌ＲＳ	19 － 19	バーバＢ
⑫	11:45～11:58	遠軽ＲＳ	24 － 7	バーバＢ
⑫	12:00～12:33	美幌ＲＳ	24 － 7	遠軽ＲＳ
⑬	12:35～13:08	函館ＲＳ	42 － 35	バーバＡ

優　勝　函館ラグビースクール
準優勝　北海道バーバリアンズジュニアＡ
３　位　札幌少年ラグビースクール

B　中央大会、本大会及び他県にわたる試合

○第２回全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会

平成２７年7月１９日　～　20日　於　長野県上田市菅平高原サニアパーク

予選Dプール　札幌山の手高校　１９　－　７　春日丘高校

札幌山の手高校　１４　－　７　尾道高校

＊予選Dプール1位通過カップトーナメントへ

カップトーナメント　１回戦　札幌山の手高校　１４　－　１２　日川高校

カップトーナメント　２回戦　札幌山の手高校　１２　－　３４　石見智翠館高校

＊結果ベスト８

○第１１回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会

平成２７年　7月３１日 ～ ２日　於　長野県上田市菅平高原サニアパーク

Ｕ１７予選リーグＡ

北海道　５　－　４３　九　州

北海道　０　－　３３　中　国

※３位でボウルリーグに進出

Ｕ１８予選リーグ

北海道　１９　－　１２　東　北

北海道　５　－　３８　関　東

※２位でボウルリーグに進出

Ｕ１７ボウルリーグ

北海道　１７　－　３６　東　北

北海道　１２　－　２７　東　海

※ボウルリーグ優勝

Ｕ１８カップリーグ

北海道　１０　－　７　四　国

北海道　５　－　１４　東　海

※ボウルリーグ２位

○第５回全国高等学校女子合同ラグビーフットボール大会

平成２７年　８月１日　～　２日　於　長野県上田市菅平高原サニアパーク

北海道・四国　０　－　３６　北信越

○第７０回国民体育大会　ラグビーフットボール大会（和歌山県）

少年　１回戦（１０月２日）　於　上富田スポーツセンターグランド

北海道　７　－　２４　福岡県

成年　予選プール第3ブロック　（１０月４日）　於　サン・ナンタンランドグランド

北海道　２９　－　２６　茨城県

北海道　１９　－　３５　福井県

北海道　７　－　３３　和歌山県

〇第９５回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会　　於　近鉄花園ラグビー場

１回戦（１２月２７日）

中 標 津 高 等 学 校　３７　－　７　北条高校（愛媛県）

１回戦（１２月２８日）

函ラ・サール高等学校　１２　－　４２　長崎北陽台高校（長崎県）

２回戦（１２月３０日）

遠 軽 高 等 学 校　７　－　７１　石見智翠館高校（島根県）

〇第２５回東日本クラブ選手権大会

１回戦（11月　１日）　於　北上陸上競技場

北海道バーバリアンズ　８３　－　１４　RKUラグビー龍ヶ崎ドラゴンズ

決　勝（11月15日）　於　秩父宮ラグビー場

北海道バーバリアンズ　３４　－　２７　神 奈 川 タ マ リ バ

※優勝

	神奈川タマリバ	RKUラグビー龍ヶ崎	駒場WMM	マンダラ東京	レッズ	勝敗	順位
北海道バーバリアンズ	〇25－10	〇59－34	〇129－0	〇61－8	〇73－10	5勝	1

〇第２３回全国クラブラグビーフットボール大会

２回戦（１月２５日）　於　埼玉県熊谷ラグビー場

北海道バーバリアンズ　１７　－　７　RKUラグビー龍ヶ崎ドラゴンズ

準決勝（２月　７日）　於　愛知県瑞穂ラグビー場

北海道バーバリアンズ　４１　－　４０　玄海TAN

決　勝（３月　１日）　於　埼玉県熊谷ラグビー場

北海道バーバリアンズ　１４　－　４１　神奈川タマリバクラブ

※準優勝

〇第６６回全国地区対抗大学ラグビー大会１回戦

２０１６年１月２日：名古屋市瑞穂公園ラグビー場

道　都　大　学　７　－　１０２　鹿児島大学（九州地区代表）

〇第５２回全国大学選手権予選東北北海道代表決定戦

２０１５年１１月１日：宮城県サッカー場

北　海　道　大　学　２７　－　２８　八戸学院大学（東北代表）

〇第４６回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会

平成２８年１月５日～９日　於　兵庫県神戸ユニバー記念競技場

１回戦（１月５日）

函館工業高等専門学校　０　－　８６　神戸工業高専

〇第１６回東日本大学セブンズ選手権大会

２０１５年４月１９日：秩父宮ラグビー場

道 都 大 学　０　－　６４　大東文化大学

道 都 大 学　０　－　７３　慶 応 義 塾 大 学

○第３５回東日本中学校ラグビーフットボール大会
平成２７年１０月１９日　於　青森マエダアリーナ

リーグ戦　第１試合　北海道ＲＳ選抜　４５　－　０　北東北ＲＳ選抜
リーグ戦　第２試合　北海道ＲＳ選抜　５　－　３５　岩手県ＲＳ選抜
※２位でセカンドステージへ

○第３５回東日本中学校ラグビーフットボール大会　平成２７年１１月８日
兼第９回北海道・東北中学校代表決定戦２ｎｄステージ
於　千葉県総合スポーツセンター於　千葉県総合スポーツセンター

プレートセミファイナルC
第１試合　北海道ＲＳ選抜　５７　－　０　埼玉県ＲＳ選抜
第２試合　北海道ＲＳ選抜　１９　－　７　栃木県ＲＳ選抜
プレート優勝戦　北海道ＲＳ選抜　１２　－　２７　千葉県ＲＳ選抜

○第３５回東日本中学生ラグビーフットボール大会　平成２６年１０月１１日・１２日
第２６回東北中学校ラグビーフットボール大会
第１０回東北・北海道代表決定戦　於　函館根崎グラウンド

準決勝(10日)　函館ラ・サール中学校(北海道)　１４　－　２０　将軍野中学校(秋田)
３位決定戦(11日)　滝沢南中学校(岩手)　１４　－　２０　函館ラ・サール中学校(北海道)

○第２１回全国ジュニアラグビーフットボール大会　平成２７年１１月２２日・２３日
北海道・東北代表決定戦　於

１回戦　北海道中学校選抜　１３　－　１２　秋田県中学校選抜
決　勝　北海道中学校選抜　４７　－　７　山形県中学校選抜

○第２１回全国ジュニアラグビーフットボール大会
平成２７年１２月２９日～３１日　於　近鉄花園ラグビー場

１回戦　北海道中学校選抜　５　－　３３　茨城県スクール選抜
敗者戦 １回戦　北海道中学校選抜　１５　－　１７　千葉県スクール選抜
敗者戦 決勝戦　北海道中学校選抜　１７　－　３６　東京都スクール選抜

○サントリーカップ第１２回全国小学生タグラグビ-選手権大会　決勝大会
平成２７年２月２０日・２１日　　於　東京調布市味の素スタジアム

予選リーグAプール

	富良野市立扇山小学校	３	－	４　関市立安桜小学校
	富良野市立扇山小学校	１	－	１０　八王子市立七国小学校
	富良野市立扇山小学校	３	－	６　紫波町立赤石小学校

※＊Aプール4位

予選リーグDプール

	当麻町立当麻小学校	１	－	５　横浜市立日野小学校
	当麻町立当麻小学校	４	－	３　松山市立北条小学校
	当麻町立当麻小学校	０	－	４　仙台市立愛子小学校

※Dプール３位

シールド決勝トーナメント

１回戦	富良野市立扇山小学校	１	－	５　磐田市立東部小学校
敗者戦	富良野市立扇山小学校	４	－	５　松山市立北条小学校
１回戦	当麻町立当麻小学校	４	－	２　読谷ラグビースクール
２回戦	当麻町立当麻小学校	３	－	７　星峯スポーツクラブ

○第１３回東日本Ｕ１５ラグビーフットボール大会
平成２８年　３月１２日・１３日　於　ケーズデンキスタジアム水戸

第２グループ予選リーグD

第１試合	北海道中学選抜	１２	－	３１　東京都中学校選抜Ｂ
第２試合	北海道中学選抜	６７	－	０　栃木県中学選抜

予選リーグ２位で２位リーグ出場

第１試合	北海道中学選抜	１０	－	５　長野県中学選抜
第２試合	北海道中学選抜	２０	－	１７　千葉県ＲＳ選抜

※２位リーグ　優勝

○第16回全国高等学校選抜大会　平成２８年３月30日～4月7日　於 埼玉県熊谷ラグビー場

予選リーグ

	札幌山の手高校	５０	－	１２　筑紫高校
	札幌山の手高校	５	－	６４　慶応義塾高校
	札幌山の手高校	２４	－	４２　常翔学園高校
	函館ラ・サール高校	０	－	７４　京都成章高校
	函館ラ・サール高校	７	－	９０　仙台育英高校
	函館ラ・サール高校	５	－	１１８　東福岡高校

北海道ラグビーフットボール協会旅費規程

第１条　役員が会務のため旅行するときは、この規程により旅費を支給する。

第２条　役員とは、会長・副会長・理事（理事長・副理事長を含む）・評議員とする。

第３条　旅費は、旅行の種類により次のとおりとする。

区　　分	普　通　旅　費	日　帰　旅　費	大 会 派 遣 費
構　　成	交通費・宿泊費	交　　通　　費	交通費・宿泊費

第４条　旅費は、出発地と目的地との一般的かつ効率的な順路によって決定する。
　ただし、災害・交通障害等やむを得ない事由による場合は、理事長の承認を得て、上記順路を変更することができる。

第５条　交通費は次により支給する。ただし、出発地と目的地が同一支部内の場合は、対象としない。
１．特別急行料金（新幹線を含む）、普通急行料金を利用したときは、その料金を支給する。
２．指定席料金は、利用できる区間が片道２００㎞以上で、かつこれを利用したときにその料金を支給する。
３．バスを利用したときは、当該バス料金を支給する。
４．航空機を利用する場合は、道外への旅行を対象とする。空港～市内営業所間の連絡バス料金を支給する。羽田空港での発着を利用した場合は、羽田空港～浜松町間のモノレール料金を支給する。
５．旅行の出発地及び目的地における交通費は支給しない。

第６条　宿泊料は１泊７，０００円を支給する。

第７条　大会派遣費は、大会に参加する理事がいない場合、もしくは大会開催地に大会担当理事が居住していない場合に理事長の指名を受け派遣された理事に支給する。
　支給額は、第５条に定める１名の金額を上限として、複数名の派遣を妨げない。

第８条　役員以外の旅費について（例　委員会等）は、本旅費規程に従い理事会で承認された事業費内で支出することを認める。ただし、道協会宛事業報告書の提出を義務づけられる。

以　上

本規約は、平成１３年７月７日皆済の理事会で承認後から適用される。

北海道ラグビーフットボール協会慶弔見舞金規程

第１条　当協会の慶弔見舞金は、この規程の定めるところによる。

第２条　会員の死亡に際しては、次の区分により会員名の香料並びに花輪を贈る。

①　会員とは、下記に記載する区分に該当する会員をいう。

	区分		花輪	弔電	香料
A	会長・副会長・理事長 顧問（現職・退職者）	本　人	○	○	30,000 円
		配偶者 父　母	○	○	10,000 円
B	副理事長（現職・退職者） 現職理事・会計監事	本　人	○	○	10,000 円
		配偶者 父　母	×	○	10,000 円
C	退職理事・現職評議員	本　人	×	○	10,000 円
		配偶者 父　母	×	○	――
D	委員会の各委員 （含副委員長）	本　人	×	○	――
		配偶者 父　母	×	×	――

②　配偶者には、妻として正式に届出はしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

③　父母には、義父母・継父母を含む。ただし義父母・継父母を対象とした場合は、実父母を対象としない。

④　上記区分に該当し、同時に２名以上の適用をうける場合は、何れか高い額により、そのうち１名に対して支給する。

第３条　当協会が所属する各団体の役員が死亡した場合、第２条の範囲内で理事長が決定し支給することができる。ただし、支出科目は交際費で処理する。

第４条　第２条の区分に該当する会員の子(養子・継子を含む)が結婚する場合、祝電を発信する。

第５条　第２条の区分に該当するＡ・Ｂの会員（本人）が５日以上に渡って病気入院した場合、Ａ…１万円・Ｂ…５千円の見舞金を支出する。ただし、同一病気で１回とする。

第６条　本規定に該当しない慶弔見舞金の支出負担が生じた場合は、理事長の専決事項とし、理事長は後日開催の理事会で報告することで支出することができる。

第７条　祝電・弔電の発信については、会長名または理事長名をもって行う。該当事象発生した場合は、庶務担当理事まで報告のこと。

以　上

本規程は平成２３年３月２６日開催の理事会で承認後から適用される。

平成 27 年度収支決算書

北海道ラグビーフットボール協会

平成27年度 収 支 報 告 書

平成27年4月１日～平成28年3月31日

◎ 収 入 の 部

科　　目	内　　訳	金　　額	備　　考
チーム会費収入		2,344,000	登　録　料
	高校　　37ﾁｰﾑ×@17千円	629,000	
	高専　　２ﾁｰﾑ×@19千円	38,000	
	大学　　21ﾁｰﾑ×@22千円	462,000	
	一般　　45ﾁｰﾑ×27千円	1,215,000	
個人会費収入	@1,000×2,925名	2,925,000	登　録　料
関東協会個人会費	@500×2,925名	1,462,500	登　録　料
日本協会個人登録料	@1,000×2,918名　@500×440名	3,138,000	登　録　料
傷害マニュアル代	@300×122	36,600	
機関誌購読料	チーム105×@3,000=315,000	1,386,000	
	レフリー306名×@3,500=1,071,000		
競技規則代		32,628	
レフリー安全保険負担	@1,000×12名	12,000	
理事会費	@5,000×27名	135,000	
参加料収入		16,069,158	
	第45回北海道選手権	2,040,000	
	第23回大学選手権道予選	410,000	
	第17回地区大学セブンズ大会	55,000	
	第41回北海道クラブ選手権	170,000	
	第42回高校選抜大会	135,000	
	第25回高等学校1年生U16大会	88,000	
	第23回高等学校新人大会	220,000	
	第２回全国高等学校セブンス道予選	90,000	
	第46回全国高専道予選	10,000	
	第35回東日本ｽｸｰﾙ中学生大会(1stｽﾃｰｼﾞ)	302,490	
	第35回東日本ｽｸｰﾙ中学生大会(2ndｽﾃｰｼﾞ)	1,825,364	
	第35回東日本中学生大会(東北北海道代表選)	60,000	
	第21回全国ジュニア大会北海道東北予選	801,000	
	第21回全国ジュニア大会	237,000	
	第13回東日本U15ﾗｸﾞﾋﾞｰ中学生大会(ｽｸｰﾙ)	1,426,000	
	第13回東日本U15ﾗｸﾞﾋﾞｰ中学生大会(中学校)	1,026,000	
	第34回北海道中学校大会	40,000	
	第12回サントリーカップタグ北海道大会	36,000	
	北海道ラグビースクール大会	150,000	
	第６回全国中学校大会北海道予選	30,000	
	第70回国体本大会(成年)	140,000	
	第70回体本大会(少年)	829,800	
	全国高等学校合同チーム大会	3,830,704	
	中学強化合宿	1,202,800	
	大学強化講習会	38,000	
	国体予選参加料	876,000	
小　　計		27,540,886	

◎ 収 入 の 部

科　　目	内　　訳	金　　額	備　　考
補助金(道体協)収入		3,522,432	
	国体道予選補助金	88,400	道　体　協
	第70回国体選手派遣事業	2,088,432	〃
	道体協競技力向上推進事業(高校)	777,600	〃
	道体協競技力向上推進事業(中学)	568,000	〃
補助金(関東他)収入		5,805,660	
	国体道予選(少年)開催市補助金	100,000	帯　広　市
	第25回高校1年生U16大会開催市補助金	45,000	北　見　市
	社会人・クラブ普及強化補助金	300,000	関　東　協　会
	第23回大学選手権道予選	200,000	関　東　協　会
	第42回高校選抜大会	200,000	関　東　協　会
	第35回東日本ｽｸｰﾙ中学生大会(2ndｽﾃｰｼﾞ)	550,000	関　東　協　会
	第35回東日本中学生大会(東北北海道代表選)	370,000	関　東　協　会
	第21回全国ジュニア大会	980,000	関　東　協　会
	北海道ラグビースクール大会	170,000	日本協会関東協会
	第12回サントリーカップタグ北海道予選	208,346	日　本　協　会
	第13回東日本U15ラグビー大会(ｽｸｰﾙ)	220,000	関　東　協　会
	第13回東日本U15ラグビー大会(中学校)	220,000	関　東　協　会
	U17北海道ブロックトレセン	500,000	日　本　協　会
	全国高等学校女子選抜大会	215,920	日　本　協　会
	全国高等学校合同チーム大会道予選	200,000	関　東　協　会
	全国高等学校合同チーム大会	1,169,000	日　本　協　会
	安全推進講習会	55,394	関　東　協　会
	札幌市補助金	102,000	フェスティバル他
負　担　金　収　入		2,762,626	
	国体道予選(少年)開催支部負担金	8,927	十　勝　支　部
	北海道ﾗｸﾞﾋﾞｰｽｸｰﾙ大会開催支部負担金	41,401	
	札幌支部負担金	40,000	
	大学学生連盟負担金	514,286	
	高専大会負担金	174,722	
	高校委員会負担金	1,093,226	
	普及育成委員会	890,064	
広　告　料　収　入		984,000	
	プログラム広告・ＨＰ広告・協賛金	984,000	
受　託　業　務　収　入		1,784,814	
	傷害見舞金手数料	165,250	
	傷害見舞金	1,125,000	
	トップリーグ試合運営受託収入	494,564	
招　待　試　合　収　入	早稲田大学　VS　慶應義塾大学	4,016,200	
雑　　収　　入		9,072	
	ロゴ使用料、ネクタイ販売手数料、寄付金他	8,125	
	受取利息	947	北海道･北洋銀行普通預金
小　　計		18,884,804	
合　　計		46,425,690	

◎ 支 出 の 部

科　　目	内　　訳	金　　額	備　　考
試　合　経　費		7,118,488	
	第45回北海道選手権	1,030,930	
	北海道ラグビーフェスティバル	221,026	
	第23回大学選手権道予選	989,961	関東協会補助事業
	北海道道地区大学春季大会	100,000	
	第17回地区大学セブンス	229,325	
	第41回北海道クラブ選手権	136,607	
	第46回高専道予選	184,722	
	第42回高校選抜大会	686,199	関東協会補助事業
	第70回国体道予選(少年)	772,627	
	第34回北海道中学校大会	46,150	
	第６回全国中学校大会北海道予選	61,640	
	第25回高等学校１年生U16大会	219,078	
	第23回高等学校新人大会	369,000	
	第２回高等学校セブンス北海道予選	282,944	
	北海道ラグビースクール大会	380,401	関東協会補助事業
	第12回ｻﾝﾄﾘｰｶｯﾌﾟﾀｸﾞ北海道大会	218,646	日本協会補助事業
	第21回全国ジュニア大会北海道・東北予選	1,189,232	
招 待 試 合 支 出	早稲田大学　VS　慶應義塾大学	4,570,841	
大　会　補　助　金		20,225,454	
	第35回東日本中学生大会(東北北海道代表決定戦)	431,251	関東協会主催事業
	第35回東日本ｽｸｰﾙ中学生大会(1stｽﾃｰｼﾞ)	571,726	関東協会主催事業
	第35回東日本ｽｸｰﾙ中学生大会(2ndｽﾃｰｼﾞ)	2,815,618	関東協会主催事業
	第21回全国ジュニア大会	1,372,157	日本協会補助事業
	第13回東日本U15ﾗｸﾞﾋﾞｰ中学生大会(ｽｸｰﾙ)	1,886,486	関東協会主催事業
	第13回東日本U15ﾗｸﾞﾋﾞｰ中学生大会(中学校)	1,514,533	関東協会主催事業
	全国高等学校合同チーム大会道予選	235,508	関東協会補助事業
	全国高等学校合同チーム大会	6,893,284	日本協会主催事業
	第70回国体本大会(成年)	1,551,839	道体協補助事業
	第70回国体本大会(少年)・直前合宿	2,953,052	道体協補助事業
普 及 指 導 ・ 強 化		3,711,299	
	レフリー強化費	867,927	
	コーチ養成強化費	139,874	
	国体代表候補セレクション	13,200	
	成年強化費(強化試合・強化合宿)	258,031	
	大学強化講習会	81,000	
	U17北海道ブロックトライアウト	504,694	日本協会補助事業
	全国高等学校女子選抜大会	215,920	
	中学強化合宿費(第1次～第4次)	1,558,966	
	SORAこそだてフェスティバル	27,500	
	表 彰 費	44,187	
小　　計		35,626,082	

◎ 支 出 の 部

科　　目	内　　訳	金　　額	備　　考
登　　録　　金		6,197,400	
関東協会費(チーム)	@1,000×122ﾁｰﾑ	122,000	関　東　協　会
関東協会費(個人会費)	@500×2,925名	1,462,500	関　東　協　会
個　人　登　録　料	@1,000×2,918名 @500×440名	3,138,000	日　本　協　会
機　関　誌　代	@2,700×432冊	1,166,400	日　本　協　会
競　技　規　則　代	@600×400+100×13	241,300	関　東　協　会
傷害マニュアル代	@300×150	45,000	
レフリー安全保険代	@1,850×12	22,200	
傷　害　見　舞　金	登録者傷害見舞金制度	1,125,000	
納　　付　　金		876,000	
	道体協負担金	247,000	道　　体　　協
	国体予選参加負担金	396,000	〃
	傷害補償制度負担金	233,000	〃
経　　費		2,347,655	
	旅　　費	1,022,720	
	会　　議　　費	92,016	
	通　　信　　費	170,707	
	公　租　公　課	200	
	印　　刷　　費	398,480	
	事　務　所　経　費	43,430	
	支　払　手　数　料	52,876	
	事　務　用　品　費	6,393	
	慶　弔　見　舞　金	26,200	
	器　具・備　品　費	0	
	消　耗　品　費	29,911	
	交　　際　　費	38,000	
	集　　会　　費	0	
	寄　　付　　金	0	
	運　　送　　費	32,120	
	広　告　宣　伝　費	32,400	
	RWC2019広報活動費	42,202	
	被　　服　　費	0	
	ＨＰ維持管理費	360,000	
	修　　繕　　費	0	
小　　計		10,546,055	
合　　計		46,172,137	
平成２７年度収支		253,553	
前　期　繰　越　金		4,739,262	
次　期　繰　越　金		4,992,815	

平成２７年度 高校南北選手権大会TV放映特別会計収支決算書

平成28年3月31日

収入			支出		
協賛金			**放映料**		
（一般）	10社	3,460,000		一式	2,700,000
（出場校経由）	36社・団体	1,140,000	**写真撮影**		
				カメラマン謝礼	20,000
（支部）		438,000			
	函館支部		**ポスター代**		
	小樽支部	40,000		230枚	34,776
	札幌支部	100,000			
	胆振支部		**横断幕代**		
	空知支部			一式	86,400
	富良野支部				
	旭川支部	88,000	**振込手数料**		
	十勝支部	100,000			1,458
	根釧支部	80,000			
	北見支部	30,000	**交通費・宿泊費**		
				札幌⇔函館	23,620
その他収入	ポロシャツ販売手数料	867,600			
			接待贈答費		
				会食代等	27,525
			支 出 合 計		2,893,779
収入合計		5,905,600	**次期繰越金**		3,011,821

会　費　収　入　内　訳

会　費　収　入　　￥１１，２９２，１００円　（平成２７年度登録金）

	高　校 ジュニアクラブ @17,000	高　専 @19,000	大　学 学生クラブ @22,000	社　会　人 @27,000	一般クラブ 女子クラブ @27,000	計	機　関　紙 @３,０００	傷　害 マニュアル @　３　０　０	日本協会個人 登録料@1,000	日本協会個人 登録料@500	関東協会個人 会 費 @５００	道協会個人 会費@1,000	合　計
函　館	7 119,000	1 19,000	1 22,000	1 27,000	4 108,000	14 295,000	14 42,000	16 4,800	320 320,000	94 47,000	320 160,000	320 320,000	1,188,800
胆　振	0 0	0 0	0 0	1 27,000	1 27,000	2 54,000	2 6,000	2 600	54 54,000	0 0	54 27,000	54 54,000	195,600
小　樽	2 34,000	0 0	1 22,000	0 0	3 81,000	6 137,000	6 18,000	7 2,100	164 164,000	22 11,000	164 82,000	164 164,000	578,100
札　幌	10 170,000	0 0	12 264,000	4 108,000	15 405,000	41 947,000	41 123,000	48 14,400	1,299 1,299,000	173 86,500	1,306 653,000	1,306 1,306,000	4,428,900
空　知	1 17,000	0 0	0 0	0 0	2 54,000	3 71,000	3 9,000	4 1,200	97 97,000	3 1,500	97 48,500	97 97,000	325,200
旭　川	4 68,000	1 19,000	3 66,000	1 27,000	3 81,000	12 261,000	12 36,000	13 3,900	293 293,000	34 17,000	293 146,500	293 293,000	1,050,400
富 良 野	1 17,000	0 0	0 0	0 0	1 27,000	2 44,000	2 6,000	2 600	54 54,000	0 0	54 27,000	54 54,000	185,600
十　勝	3 51,000	0 0	1 22,000	0 0	3 81,000	7 154,000	7 21,000	8 2,400	195 195,000	44 22,000	195 97,500	195 195,000	686,900
根　釧	3 51,000	0 0	2 44,000	0 0	3 81,000	8 176,000	8 24,000	9 2,700	172 172,000	0 0	172 86,000	172 172,000	632,700
北　見	6 102,000	0 0	1 22,000	0 0	3 81,000	10 205,000	10 30,000	13 3,900	270 270,000	70 35,000	270 135,000	270 270,000	948,900
レフリー							306 1,071,000						1,071,000
合　計	37 629,000	2 38,000	21 462,000	7 189,000	38 1,026,000	105 2,344,000	411 1,386,000	122 36,600	2,918 2,918,000	440 220,000	2,925 1,462,500	2,925 2,925,000	11,292,100

経　費　内　訳

事　務　所　経　費		43,430円
道体協事務所経費(事務所使用料、電気料他)		
印　　刷　　費		398,480円
事業報告	230,000	
会員名簿	168,480	
通　　信　　費		170,707円
事務所電話料	37,212	
ホームページＯＣＮ通信料（12ヵ月）	64,428	
切手・はがき・弔電	69,067	
会　　議　　費		92,016円
会計監査	8,376	
評議員会	46,440	
理事会他	37,200	
旅費・交通費		1,022,720円
評議員会（１回）	212,590	
理事会（3回）	386,570	
普及育成員派遣交通費（サントリーカップ引率）	79,980	
関東協会等出張旅費(1回)	80,040	
普及委員会会議交通費（2回）	172,180	
社会人クラブ委員会会議交通費（1回）	36,000	
強化委員会会議交通費（3回）	36,000	
その他交通費・駐車場代他	19,360	
そ　の　他		620,302円
交際費（体育団体祝賀会、道体協新年交礼会等）	38,000	
慶弔見舞金（香典・供花）	26,200	
消耗品費（封筒・名刺他）	29,911	
事務用品費	6,393	
支払手数料（振込手数料、両替手数料他）	52,876	
運送費（宅急便代、メール便代）	32,120	
公租公課（印紙代）	200	
広告宣伝費（新聞広告3件）	32,400	
ＲＷＣ２０１９広報活動費	42,202	
ＨＰ維持管理費（HP更新料・管理料）	360,000	
合　　計		2,347,655円

財 産 目 録

種　　目	金　　額
現　　金	0
道銀普通預金	7,232,826
北洋銀普通預金	753,185
ネクタイ（９本）	23,625
合　　計	8,009,636

負 債 目 録

種　　目	金　　額
前受金(28年度分理事会費)	5,000
合　　計	5,000

備 品 目 録

テ　ン　ト	１２張
机	４脚
椅　子	２０脚
パソコン一式	１台
複合プリンター	１台

個 別 会 計 報 告

第４５回北海道選手権大会収支報告（H27.6.19～７.5）　　主管　札幌支部

収入の部		支出の部	
摘　要	金　額	摘　要	金　額
参加費@30千円×６８ﾁｰﾑ	2,040,000	グランド使用料	91,000
広告・協賛金（４社）	120,000	大会運営費	369,031
		印刷費	433,080
		会議費	134,186
		事務・通信費	3,633
		剰余金道協会納付	1,129,070
合　計	2,160,000	合　計	2,160,000

第７０回国民大会(少年)道予選収支報告(H27.6.17～19)　　主管　帯広支部

収入の部		支出の部	
摘　要	金　額	摘　要	金　額
北海道協会補助金	171,000	運営・設営費	147,878
帯広市補助金	100,000	印刷費	162,000
十勝協会補助金	8,927	食料費	88,985
大会参加料(@2,000×193名 U18)	386,000	事務・通信費	19,794
大会参加料(@2,000×135名 U17)	270,000	交通費・宿泊費	83,970
大会参加料(@20,000×11チーム)	220,000	高校委員会会計(Ｕ１７参加料)	270,000
		道体協納付金	383,300
合　計	1,155,927	合　計	1,155,927

第４１回北海道クラブ選手権大会(H27. 5.31～10.14)　　主管　札幌支部他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料@２５千円×４ﾁｰﾑ	100,000	グランド使用料	8,600
参加料@２０千円×３ﾁｰﾑ	60,000	レフリー等交通費	47,000
参加料@１０千円×１ﾁｰﾑ	10,000	ボール代	58,320
預金利息	13	食料費・消耗品費	2,700
		会議費	3,759
		トロフィー代	11,718
		事務費・通信費等	4,510
		剰余金道協会納付	33,406
合計	170,013	合計	170,013

第２３回全国大学選手権大会予選　リーグ戦収支報告(H27. 9. 12～10. 18)　　主管 大学委員会他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	グラウンド使用料	133,920
参加料@３０千円×５ﾁｰﾑ	150,000	レフリー交通費	205,500
参加料@２０千円×１３ﾁｰﾑ	260,000	交通費補助	69,000
学生連盟負担金	359,961	印刷費	314,064
札幌支部負担金	20,000	昼食費・飲料水等	67,847
		ドクター・カメラマン謝礼	90,000
		ボール代	58,320
		ペイント代、事務費	51,310
合計	989,961	合計	989,961

第１７回地区大学セブンズ大会収支報告(H27.7. 26)　　主管 大学委員会他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料@５千円×１１ﾁｰﾑ	55,000	グラウンド使用料	53,200
学生連盟負担金	154,325	交通費	40,000
札幌支部負担金	20,000	昼食費	17,069
		印刷費	68,688
		ドクター・カメラマン謝礼	40,000
		表彰費	10,368
合計	229,325	合計	229,325

平成２７年度地区大学春季交流大会収支報告　　主管 大学委員会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	100,000	グラウンド使用料	21,500
		交通費	3,000
		昼食費	9,168
		学連会計	66,332
合計	100,000	合計	100,000

第４６回全国高専大会道予選収支報告(H27.10. 10)　　主管 旭川支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料　@５千円×２ﾁｰﾑ	10,000	会場使用料	11,900
高専体育大会負担金	153,722	交通費(バス借上げ)	106,272
後援会補助	21,000	審判・医務謝礼	28,000
		補助員謝礼	3,000
		ボール代	29,160
		消耗品費	6,390
合計	184,722	合計	184,722

第４２回北海道高等学校選抜大会収支報告(H27.7.26～30)　　主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	招待チーム補助金	300,000
北海道協会補助金	351,199	グランド使用料	147,000
参加料@15千円×9チーム	135,000	昼食費	151,069
		印刷費	86,400
		会議費	1,700
		通信費	30
合計	686,199	合計	686,199

第２５回高等学校1年生U16大会収支報告(H27. 8.9～11)　　主管 北見支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	86,078	交通費	30,000
北見市補助金	45,000	昼食費	13,500
参加料@８千円×８ﾁｰﾑ	88,000	ボール代	38,880
		ドクター謝礼	10,000
		印刷費	47,520
		消耗品費他	79,178
合計	219,078	合計	219,078

第２３回高等学校新人戦大会収支報告(H27.10. 18～22)　　主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	129,000	交通費・宿泊費	117,212
参加料@２０千円×１１ﾁｰﾑ	220,000	昼食費	57,019
広告代(2社)	20,000	ボール代	40,581
		印刷費	55,000
		ホワイトボード代	42,962
		事務費・消耗品費他	56,226
合計	369,000	合計	369,000

第２回全国高等学校7人制北海道予選会収支報告(H27.6. 6～7)　　主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	129,000	交通費	106,000
参加料(@10,000×9チーム)	90,000	宿泊費	104,400
広告料・協賛金	60,000	印刷費	57,240
高校委員会負担金	3,944	昼食代	6,494
		報償費	5,594
		通信費他	3,216
合計	282,944	合計	282,944

第６回全国中学校大会　北海道予選会収支報告(H27.7.3～5)　　主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	31,640	会場使用料	49,000
参加料 @10,000×3校	30,000	トロフィー代	5,670
		レフリー謝礼	6,000
		事務費	970
合計	61,640	合計	61,640

第３４回中学校大会収支報告((H27.9.5～6)　　主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	6,150	レフリー交通費	10,000
参加料 @10,000×4校	40,000	ボール代	21,600
		トロフィー代	13,608
		事務費	942
合計	46,150	合計	46,150

北海道ﾗｸﾞﾋﾞｰｽｸｰﾙ大会 （小学生第27回・中学生第34回）（H27.9.20～21）　　主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	70,000	会場使用料	130,000
関東協会補助金	100,000	競技運営費	128,813
参加料(15千円×10チーム)	150,000	印刷費	78,650
協賛広告(４社)	19,000	消耗品費	42,938
函館支部負担金	41,401		
合計	380,401	合計	380,401

第１２回北海道小学生ﾀｸﾞﾗｸﾞﾋﾞｰ選手権大会
兼ｻﾝﾄﾘｰｶｯﾌﾟ第12回全国小学生ﾀｸﾞﾗｸﾞﾋﾞｰ選手権大会北海道ﾌﾞﾛｯｸ大会(H28.1.11)　　主管　札幌支部他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	208,346	会場使用料	36,070
参加料	36,000	交通費	72,000
		弁当代	22,200
		印刷代	35,424
		保険料	10,300
		優勝盾	10,800
		ドクター謝礼	5,000
		事務費・消耗品費他	26,852
		北海道協会	25,700
合計	244,346	合計	244,346

北海道協会普及・指導・強化事業収支報告

北海道地区大学連盟強化講習会（札幌市 H27.5.9～10）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	43,000	交通費・宿泊費	49,000
参加費	38,000	食料費	11,628
		学連会計へ	20,372
合計	81,000	合計	81,000

U17北海道ブロックトライアウト（帯広市H27.6.19～21）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	500,000	交通費・宿泊費	486,864
高校委員会	4,694	会場使用料	13,800
		通信費・消耗品費他	4,030
合計	504,694	合計	504,694

セブンスミーティングおよび代表候補セレクションマッチ（札幌市H27.5.17）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	13,200	交通費	12,000
		事務費（洗濯代）	1,200
合計	13,200	合計	13,200

北海道代表候補強化試合(ピリカモシリセブンス)(札幌市H27.7.11～12)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	235,831	交通費	17,000
		宿泊費	143,000
		参加費	56,000
		弁当代、消耗品費他	19,831
合計	235,831	合計	235,831

北海道代表候補強化試合(大学セブンス)(札幌市H27.7.26)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	22,200	交通費	21,000
		事務費（洗濯代）	1,200
合計	22,200	合計	22,200

レフリーソサエティ

第１回レフリー研修会（札幌市 H27.6.6～6.7）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	64,731	研修室使用料	7,020
		交通費補助	8,000
		講師交通費・宿泊費	47,377
		事務費	2,334
合計	64,731	合計	64,731

第２回レフリー研修会（江別市他 H27.6.19～7.5）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	144,776	宿泊費	26,305
		交通費	51,984
		講師謝礼	40,000
		食費・消耗品費	26,487
合計	144,776	合計	144,776

第３回レフリー研修会（江別市他 H27.7.25～7.30）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	133,785	研修室使用料	7,020
		講師宿泊費	10,522
		宿泊費補助	44,000
		交通費	28,865
		交通費補助	41,000
		消耗品費	2,378
合計	133,785	合計	133,785

第４回レフリー研修会（札幌市 H28.1.9～1.10）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	157,484	研修室使用料	31,644
		講師宿泊費	4,798
		宿泊費補助	42,092
		交通費	29,250
		交通費補助	35,000
		食費・消耗品費	14,700
合計	157,484	合計	157,484

レフリー各種経費

◎レフリー委員会会議費	107,102円
◎レフリー委員会交通費補助	42,464円
◎レフリー・アセッサー派遣補助	10,000円
◎B級認定講習会派遣補助	60,000円
◎通信費	8,527円
◎トランシーバー	139,058円
小計	367,151円
総合計	**867,927円**

安全対策・コーチ委員会

第１回安全対策・コーチ委員会　（札幌市　H28.2.7）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	71,390	交通費	62,600
		会場使用料	8,790
合計	71,390	合計	71,390

ブラッシュアップ研修会　（札幌市　H28.1.30）　（日本協会）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者受講料(@1,000×10名)	10,000	日本協会へ納付	10,000
合計	10,000	合計	10,000

新スタートコーチ資格認定講習会　（旭川市　H27.5.30）　（日本協会）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者受講料(@3,000×26名)	78,000	助手交通費・会場使用料	12,416
		日本協会へ納付	65,584
合計	78,000	合計	78,000

コーチ委員会・安全対策委員会各種経費

◎安全推進講習会交通費	65,400円
◎資料郵送料	1,788円
◎振込手数料	1,296円
小計	68,484円
道協会負担額合計	**139,874円**

平成２７年度第1回スクール中学生強化合宿（江別市H27.8.22～8.23）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	356,000	指導者・選手　交通費・宿泊費	206,500
前年度からの繰越	63,484	グラウンド使用料	12,900
		食費	92,250
		トレーナー謝礼	7,440
		消耗品費他	5,160
		第２次合宿へ繰越	95,234
合計	419,484	合計	419,484

平成２７年度第2回スクール中学生強化合宿（札幌市H27.10.3 ～4 ）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	291,100	指導者・選手　交通費・宿泊費	257,500
第１次合宿からの繰越	95,234	看護師謝礼	5,000
		消耗品費	4,598
		東日本1ｓｔステージへ繰越	119,236
合計	386,334	合計	386,334

平成２７年度第3回スクール中学生強化合宿（江別市H27.10.31 ～11.1 ）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	177,200	指導者・選手　交通費・宿泊費	107,500
東日本大会1ｓｔステージからの繰越	101,014	グラウンド使用料	12,900
		食費	62,700
		トレーナー謝礼	7,000
		消耗品費他	860
		東日本2ｎｄステージへ繰越	87,254
合計	278,214	合計	278,214

平成２７年度U15中学生スクール選抜合宿（江別市H28.2.6 ～7 ）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	378,500	指導者・選手　交通費・宿泊費	263,200
東日本大会2ndステージからの繰越	96,434	グラウンド使用料	20,000
		トレーナー等謝礼	10,000
		食費	106,600
		消耗品費	648
		普及育成委員会へ繰越	74,486
合計	474,934	合計	474,934

北海道体育協会競技力向上事業収支報告

第７０回国民体育大会少年（上富田町27.9.30～10.3）および平成27年度国体少年直前強化合宿(札幌市)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協助成金（国体）	1,684,752	交通費	1,560,990
北海道協会補助金	150,000	宿泊費	1,010,292
参加者負担金	829,800	昼食費	89,387
高校委員会負担金	288,500	ポロシャツ・ソックス・ピステ代	212,074
		運送費	4,914
		トレーナー日当	20,000
		消耗品費、事務費等	55,395
合計	2,953,052	合計	2,953,052

第７０回国民体育大会　　成年（串本町H27.10.2～4）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協補助金	697,680	交通費	926,744
北海道協会補助金	414,159	宿泊費	364,530
参加者負担金(@10,000×14名)	140,000	昼食費	11,232
関東協会補助金	300,000	消耗品費	6,396
		事務費運送費等	32,937
		北海道代表セカンドジャージ	210,000
合計	1,551,839	合計	1,551,839

第２１回全国ジュニア大会北海道東北代表決定戦（秋田市H27.11.12～16）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協助成金	189,000	交通費	398,540
北海道協会補助金	100,000	宿泊費	576,576
個人負担金	801,000	昼食費	90,720
前回大会の繰越金	99,232	参加費	15,000
		運営費	53,239
		本大会へ繰越	55,157
合計	1,189,232	合計	1,189,232

関東協会主催事業収支報告

第３５回東日本中学生大会（中学校の部）（東北北海道代表決定選）（函館市　H27.10.10～11）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	370,000	交通費補助	300,000
北海道協会補助金	1,251	役員交通費宿泊費	64,100
参加費＠１５,０００×４校	60,000	弁当代	14,000
		ドクター謝礼	20,000
		ボール代	22,500
		事務費他	10,651
合計	431,251	合計	431,251

第３５回東日本中学生大会（スクールの部）（東北北海道予選）（函館市　H27.10.17～18）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道協会補助金	150,000	交通費補助	74,000
個人負担金	216,000	宿泊費（４５名）	231,420
帯同保護者負担金	86,490	ファンクション代、弁当代	99,312
第２次強化合宿繰越金	119,236	指導員、医務謝礼（6名）	41,000
		ボール代	18,900
		事務費他	6,080
		第３次合宿へ繰越	101,014
合計	571,726	合計	571,726

第35回東日本中学生大会（スクールの部）（2nd ステージ）（千葉県総合スポーツセンター　H27.11.6～8）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道体育協会補助金	203,000	交通費、宿泊費	2,481,562
関東協会補助金	550,000	交通費等補助	32,420
北海道協会補助金	150,000	昼食費	12,000
個人負担金	1,292,000	指導員、トレーナー他謝礼	162,728
保護者負担金	533,364	消耗品費・通信費他	25,322
第３次強化合宿繰越金	87,254	Ｕ１５選抜大会へ繰越	101,586
合計	2,815,618	合計	2,815,618

第１３回東日本Ｕ１５中学生ラグビー選抜大会（スクール選抜）（水戸市H28.3.11～13）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道体育協会補助金	86,000	交通費（航空機、バス）	1,250,016
関東協会補助金	220,000	宿泊費（２８名）	386,886
北海道協会補助金	80,000	参加費	30,000
参加者負担金	1,426,000	昼食費	37,800
前回合宿繰越金	74,486	メディカル、コーチ等謝礼	125,000
		補食費・消耗品費	24,042
		次期遠征費用等へ繰越	32,742
合計	1,886,486	合計	1,886,486

第１３回東日本Ｕ１５中学生ラグビー選抜大会（中学校選抜）（水戸市H28.3.11～13）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道体育協会補助金	90,000	交通費（航空機、バス）	965,780
関東協会補助金	220,000	宿泊費（３０名）	420,000
北海道協会補助金	80,000	参加費	30,000
参加者負担金	1,026,000	昼食費	21,000
普及育成繰越金	98,533	消耗品費・運送費等	15,433
		次期遠征費用へ繰越	62,320
合計	1,514,533	合計	1,514,533

全国高校合同大会北海道予選会（札幌市H27.6.6～7）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	交通費	70,000
高校委員会負担金	35,508	宿泊費	135,400
		食料費	10,992
		消耗品費他	19,116
合計	235,508	合計	235,508

日本協会主催事業収支報告

第２１回全国ジュニアラグビーフットボール大会（中学校選抜）（東大阪市H27.12.28～31）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	800,000	交通費（航空機、バス他）	154,750
関東協会補助金	180,000	宿泊費（２９名）	973,768
北海道協会補助金	100,000	参加費	69,838
参加者負担金	237,000	昼食費	42,000
前回大会の繰越	55,157	補食費・消耗品費その他	33,268
		次期遠征費用等へ繰越	98,533
合計	1,372,157	合計	1,372,157

第10回全国高校合同チームラグビーフットボール大会（上田市H27.7.30～8.3）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	1,169,000	参加費	40,000
道体協補助金	468,000	交通費、宿泊費	6,352,743
協賛金	530,000	ポロシャツ、ソックス代	315,582
参加者負担金	1,471,944	補食費・消耗品費その他	184,959
高校負担金	2,358,760		
高校委員会	760,580		
ポロシャツ販売還元	135,000		
合計	6,893,284	合計	6,893,284

平成27年 有料試合収支決算書

早稲田大学　対　慶應義塾大学

平成27年6月28日

収		入	支		出	
チケット販売			会場使用料(月寒)	札幌ｽﾎﾟｰﾂ振興事業団	2日分	378,170
			弁当代、氷代	清水産業	弁当・お茶115	110,052
ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ販売			アフターマッチファンクション	アサヒビール園	128名	486,400
メイン 2500	153	382,500	印刷費　チケット	アルファビジネス	5,200枚	45,792
バック 1500	75	112,500	印刷費　ポスター	アルファビジネス	300枚	46,008
サイド 1000	24	24,000	大丸ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ販売手数料		7%	4,760
サイド 500		0	道新ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ販売手数料		7%	1,925
小計	252	519,000	ﾁｹｯﾄぴあ販売手数料		12%＋用紙代	11,526
			ﾛｰｿﾝﾁｹｯﾄ販売手数料		10%＋用紙代	34,770
前売			ﾚﾌﾘｰ・ﾀｯﾁﾞｬｯｼﾞ交通費宿泊費	3試合16名		45,783
メイン 2500	884	2,210,000	駐車場代			
バック 1500	305	457,500	警備料	ﾏｰｶﾞﾚｯﾄｻｰﾋﾞｽ5名	駐車場警備	81,600
サイド 1000		0	会場廃棄物収集料	札幌市環境事業公社		9,911
サイド 500	142	71,000	臨時売店設置使用料	札幌市		2,361
スクール		0	コピーＦＡＸ代	札幌ｽﾎﾟｰﾂ振興事業団		1,200
小計	1,331	2,738,500	支払手数料	振込み手数料		1,890
			消耗品費	氷代他		2,928
当日窓口販売			ボール代	マジックオーバル他		29,160
メイン 2500	60	150,000	アナウンサー謝礼			10,000
バック 1500	86	129,000	カメラマン謝礼			10,000
サイド 1000	24	24,000				
サイド 500	55	27,500				
券種変更			小計			1,314,236
過不足金		▲ 1,000				
小計	225	329,500	両校旅費、宿泊費	近畿日本ツーリスト		3,140,725
			両校旅行保険代	近畿日本ツーリスト		32,000
チケット販売合計	1,808	3,587,000	両校お土産代		@5,000円×9個	45,000
			両校チーム付経費(補食費)	清水産業	おにぎり、バナナ他	38,880
ファンクション	51	206,000				
			小計			3,256,605
協賛金	旭イノベックス	100,000				
	エアウォーター	60,000				
	米代生駒	20,000				
	おかめや	20,000				
	日本旅行	10,000				
売店売上手数料	清水産業	10,000				
	ﾏｼﾞｯｸｵｰﾊﾞﾙ	3,200	合計			4,570,841
			利益			▲ 554,641
総合計		4,016,200	総合計			4,016,200

平成27年トップリーグ収支決算書

平成27年9月13日

収入			支出		
前売券委託販売			**前売券清算**		
自由席一般 1500	602	903,000	販売額全額		903,000
過不足金額			**当日券清算**		
小計	602	903,000	販売額全額		121,500
招待券 1500	20	30,000	**オフィシャルファンブック清算**		
その他			一冊 900		9,000
当日販売					
自由席一般 1500	81	121,500			
過不足金額			**事務経費**		
小計	81	121,500	氷代		7,128
			レフリー電池代		1,633
オフィシャルファンブック販売			レフリー水代		3,224
一冊 1000	10	10,000			
			駐車場代		1,000
過不足金額			コピー代・FAX代		880
小計		10,000	売店出店手数料		2,361
			振込手数料		810
売店出店手数料					
清水産業					
			中計		1,050,536
小計		0			
業務委託費		300,000	**利益**		494,564
前売券販売戻し	20%	180,600			
合計		1,545,100	**合計**		1,545,100

平成27年度北海道ラグビーフェスティバル収支報告書

平成27年7月4日

収入		支出			
豊平区補助金	60,000	会場使用料（月寒競技場）	札幌ｽﾎﾟｰﾂ振興事業団		77,200
北海道協会負担金	161,026	綿あめ、ﾖｰﾖｰ、ﾎﾟｯﾌﾟｺｰﾝ	清水産業		32,400
		子供用おやつ(プレゼント)	清水産業	150個	40,500
		スタッフ弁当代(20個)	清水産業		15,120
		臨時売店設置使用料	札幌市市民局		1,394
		氷代	清水産業		3,060
		レフリー氷代その他	ローソン他		1,810
		ごみ収集費用	札幌市環境事業公社		2,116
		豊平ラグビー体験会費用			
		タグセット	(株)スズキスポーツ		21,492
		ボール代	ｶﾝﾀﾍﾞﾘｰｼｮｯﾌﾟ札幌店	6個	18,144
		KOパンチばいきんまん	（有）スギタ	3個	7,790
総合計	221,026	**合計**			221,026

平成27年度予算・決算対比表 平成27年４月１日～平成28年３月31日

◎ 収 入 の 部

科目	内訳	27年度予算	27年度決算	増減
会費収入	高校 37チーム(▲6チーム)	714,000	629,000	▲ 85,000
	高専 2チーム(±0チーム)	38,000	38,000	0
	大学 21チーム(▲1チーム)	484,000	462,000	▲ 22,000
	社会人 45チーム(▲3チーム)	1,296,000	1,215,000	▲ 81,000
個人会費(関東協会)	500×2,925名 (▲139名)	1,535,000	1,462,500	▲ 72,500
個人会費(道協会)	1000×2,925名 (▲139名)	3,064,000	2,925,000	▲ 139,000
傷害保険料	1000×2,918名+500×440名	3,306,000	3,138,000	▲ 168,000
傷害マニュアル代	@300×122	39,000	36,600	▲ 2,400
機関誌購読料		1,402,500	1,386,000	▲ 16,500
レフリー安全保険	@1000×12	11,000	12,000	1,000
理事会費	@5,000×27	135,000	135,000	0
競技規則代			32,628	32,628
参加料収入	第45回北海道選手権	2,040,000	2,040,000	0
	第23回大学選手権道予選	460,000	410,000	▲ 50,000
	第17回地区大学セブンズ大会	80,000	55,000	▲ 25,000
	第41回北海道クラブ選手権	225,000	170,000	▲ 55,000
	第42回高校選抜大会	135,000	135,000	0
	第25回高等学校1年生U16大会	104,000	88,000	▲ 16,000
	第23回高等学校新人大会	240,000	220,000	▲ 20,000
	第46回全国高専道予選	10,000	10,000	0
	第２回高等学校セブンズ北海道予選	90,000	90,000	0
	第67回高等学校南北選手権			0
	第52回東日本都道県対抗(本大会)	156,000		▲ 156,000
	第35回東日本中学生大会スクール(1stステージ)	910,000	302,490	▲ 607,510
	第35回東日本中学生大会スクール(2ndステージ)	910,000	1,825,364	915,364
	第35回東日本中学生大会(東北北海道戦)		60,000	60,000
	第21回全国ジュニア大会北海道東北予選	500,000	801,000	301,000
	第21回回全国ジュニア大会	1,680,000	237,000	▲ 1,443,000
	第９回ヒーローズカップ全国大会			0
	第13回東日本U15ラグビー中学生大会(スクール)	1,040,000	1,426,000	386,000
	第13回東日本U15ラグビー中学生大会(中学校)	1,040,000	1,026,000	▲ 14,000
	第34回北海道中学校大会	30,000	40,000	10,000
	第12回サントリーカップタグ北海道大会	36,000	36,000	0
	北海道ラグビースクール大会	150,000	150,000	0
	第6回全国中学校大会北海道予選	30,000	30,000	0
	第70回国体本大会(成年)	150,000	140,000	▲ 10,000
	第70回国体本大会(少年)		829,800	829,800
	成年強化合宿第1次強化合宿			0
	成年強化試合	32,000		▲ 32,000
	U16北海道ブロックトライアウト			0
	U17北海道ブロックトライアウト			0
	コベルコカップ合同チーム大会	3,950,000	3,830,704	▲ 119,296
	中学強化合宿第1次強化合宿		356,000	356,000
	中学強化合宿第2次強化合宿		291,100	291,100
	中学強化合宿第3次強化合宿		177,200	177,200
	中学強化合宿第4次強化合宿		378,500	378,500
	U16強化合宿			0
	U17強化合宿			0
	U18強化合宿			0
	大学強化講習会	40,000	38,000	▲ 2,000
	北海道ミニジュニア指導者講習会			0
	研修レフリー自己負担			0
	国体予選参加料	960,000	876,000	▲ 84,000
補助金(道体協)収入	国体予選補助金	87,500	88,400	900
	道体協補助金(国体)	605,000	2,088,432	1,483,432
	〃 強化対策助成 成年			0
	〃 強化対策助成 少年		777,600	777,600
	〃 強化対策助成 中学		568,000	568,000
補助金(関東他)収入	レフリー指導強化(北見市)			0
	第25回高等学校1年生U16大会開催市補助金	45,000	45,000	0
	国体道予選(少年)開催市補助金	100,000	100,000	0
	第23回高等学校新人大会開催市補助金			0
	第52回東日本都道県対抗(本大会)	1,525,000	300,000	▲ 1,225,000
	第23回大学選手権道予選	200,000	200,000	0
	第42回高校選抜大会関東協会補助金	200,000	200,000	0
	第35回東日本中学生大会スクール(2ndステージ)	550,000	550,000	0
	第35回東日本中学生大会(東北北海道戦)		370,000	370,000
	第21回全国ジュニア大会北海道東北予選	100,000		▲ 100,000
	第21回全国ジュニア大会	850,000	980,000	130,000
	北海道ラグビースクール大会補助金	170,000	170,000	0
	第12回サントリーカップタグ北海道大会	100,000	208,346	108,346
	第13回東日本U15ラグビー(スクール)補助金	300,000	220,000	▲ 80,000
	第13回東日本U15ラグビー(中学校)補助金	300,000	220,000	▲ 80,000
	U16北海道ブロックトライアウト	150,000		▲ 150,000
	U17北海道ブロックトライアウト	350,000	500,000	150,000
	コベルコカップ合同チーム大会北海道予選	200,000	200,000	0
	高校女子選抜		215,920	215,920
	コベルコカップ合同チーム大会	1,128,000	1,169,000	41,000
	イーストジャパン遠征			0
	安全推進講習会		55,394	55,394
	札幌市補助金		102,000	102,000
負担金	国体道予選(少年)開催支部負担金	19,000	8,927	▲ 10,073
	札幌支部支部負担金	40,000	40,000	0
	北海道ラグビースクール大会開催支部負担金	50,000	41,401	▲ 8,599
	大学学生連盟負担金	987,000	514,286	▲ 472,714
	高専大会負担金		174,722	174,722
	高校委員会負担金	1,072,000	1,093,226	21,226
	普及育成委員会各事業の繰越		890,064	890,064
広告料収入	プログラム広告、HP広告、協賛金	1,100,000	984,000	▲ 116,000
業務委託手数料	試合運営受託収入	500,000	494,564	▲ 5,436
	傷害見舞金手数料(H25年分5%)	165,300	165,250	▲ 50
	傷害見舞金		1,125,000	1,125,000
招待試合収入	有料試合収入	4,995,000	4,016,200	▲ 978,800
雑収入	北海道協会ロゴ使用料、Ｔシャツ、寄付金他	20,000	8,125	▲ 11,875
	受取利息他	1,000	947	▲ 53
収入合計		42,932,300	46,425,690	3,493,390

◎ 支 出 の 部

平成28年3月31日

科目	内訳	27年度予算	27年度決算	増減
関東協会(登録料)	@1,000×122 チーム会費	132,000	122,000	▲ 10,000
	@500×2,925 個人会費	1,532,000	1,462,500	▲ 69,500
日本協会個人登録料	@1000×2,918名+500×440名	3,305,000	3,138,000	▲ 167,000
機関誌代	@2,700×432	1,158,300	1,166,400	8,100
競技規則代	@600×400+100×13	197,000	241,300	44,300
傷害マニュアル代	@300×165	49,500	45,000	▲ 4,500
レフリー安全保険代	@1850×12	20,350	22,200	1,850
障害見舞金			1,125,000	1,125,000
試合経費	第45回北海道選手権	1,165,000	1,030,930	▲ 134,070
	北海道ラグビーフェスティバル	100,000	221,026	121,026
	第23回大学選手権道予選	1,315,000	989,961	▲ 325,039
	第17回地区大学セブンズ大会	300,000	229,325	▲ 70,675
	地区大学春季大会	210,000	100,000	▲ 110,000
	第41回北海道クラブ選手権	225,000	136,607	▲ 88,393
	第46回全国高専道予選	10,000	184,722	174,722
	第42回高校選抜大会	687,000	686,199	▲ 801
	第70回国体道予選兼北海道セブンス(成年)			0
	第70回国体道予選(少年)	950,000	772,627	▲ 177,373
	第34回北海道中学校大会	73,000	46,150	▲ 26,850
	第６回全国中学校大会北海道予選	60,000	61,640	1,640
	第25回高等学校１年生U16大会	235,000	219,078	▲ 15,922
	第23回高等学校新人大会	419,000	369,000	▲ 50,000
	第2回高等学校セブンズ北海道予選	369,000	282,944	▲ 86,056
	第67回高等学校南北選手権			0
	北海道ラグビースクール大会	370,000	380,401	10,401
	第13回東日本U１５ラグビー大会(スクール)	1,490,000	1,886,486	396,486
	第13回東日本U１５ラグビー大会(中学校)	1,490,000	1,514,533	24,533
	第12回サントリーカップタグ北海道大会	220,000	218,646	▲ 1,354
	有料試合支出	4,995,000	4,570,841	▲ 424,159
	第52回東日本都道県対抗(本大会)	1,681,000		▲ 1,681,000
大会補助金	第70回国体本大会(成年)	1,225,000	1,551,839	326,839
	第70回国体本大会(女子)			0
	第70回国体本大会(少年)		2,953,052	2,953,052
	第35回東日本中学生大会スクール(1stステージ)	1,060,000	571,726	▲ 488,274
	第35回東日本中学生大会スクール(2ndステージ)	1,610,000	2,815,618	1,205,618
	第35回東日本中学生大会(東北北海道戦)		431,251	431,251
	第21回全国ジュニア大会北海道東北予選	800,000	1,189,232	389,232
	第21回全国ジュニア大会	2,530,000	1,372,157	▲ 1,157,843
	第９回ヒーローズカップ全国大会			0
	コベルコカップ合同チーム大会北海道予選	200,000	235,508	35,508
	コベルコカップ合同チーム大会	6,500,000	6,893,284	393,284
普及指導・強化	レフリー強化	855,000	807,927	▲ 47,073
	B級レフリー公認講習会受講補助	90,000	60,000	▲ 30,000
	コーチ養成強化費	300,000	139,874	▲ 160,126
	国体代表候補セレクション	50,000	13,200	▲ 36,800
	成年強化費強化試合	152,000	258,031	106,031
	成年強化費 第1次	50,000		▲ 50,000
	女子強化費 強化試合			0
	大学強化講習会	125,000	81,000	▲ 44,000
	U16北海道ブロックトライアウト	150,000		▲ 150,000
	U17北海道ブロックトライアウト	650,000	504,694	▲ 145,306
	高校女子選抜		215,920	215,920
	イーストジャパン遠征			0
	中学強化合宿費 第１次		419,484	419,484
	中学強化合宿費 第２次		386,334	386,334
	中学強化合宿費 第３次		278,214	278,214
	中学強化合宿費 第４次		474,934	474,934
	U16強化合宿費			0
	U17強化合宿費			0
	U18強化合宿費			0
	北海道ミニジュニア指導者講習会			0
	北海道タグラグビーレフリー(トレーナー)講習会	60,000		
	SORAこそだてフェスティバル		27,500	
	表彰費	80,000	44,187	
納付金	道体協負担金	247,000	247,000	
	国体参加負担金・傷害補償制度負担金	441,000	629,000	
委員会活動費	強化委員会・女子委員会会議			
	普及育成委員会会議			
	社会人・クラブ委員会会議			
	ゴールデンオールディーズ委員会会議			
メディカル	ドクターバッグ			0
広報活動費	宣伝・ホームページ管理費	400,000	392,400	▲ 7,600
	RWC2019広報活動		42,202	42,202
旅費	理事会・評議員会・支部事務局担当者会議他	1,000,000	1,022,720	22,720
通信費	ＯＣＮ通信費	150,000	170,707	20,707
会議費	支部長会議他	100,000	92,016	▲ 7,984
事務経費	事務経費 人件費			0
	事務所経費	50,000	43,430	▲ 6,570
	印刷費	400,000	398,480	▲ 1,520
	慶弔・見舞金	30,000	26,200	▲ 3,800
	事務用品・消耗品費	100,000	36,304	▲ 63,696
	交際費・集会費･寄付金	100,000	38,000	▲ 62,000
	支払手数料	45,000	52,876	7,876
	被服費			0
	運送費・修繕費・その他	75,000	32,320	▲ 42,680
備品購入				
支払合計		42,383,150	46,172,137	3,788,987
単年度収支		549,150	253,553	▲ 295,597
前期繰越金		4,739,262	4,739,262	0
次期繰越金		5,288,412	4,992,815	▲ 295,597

高等学校南北選手権テレビ放映

科目	内訳	27年度予算	27年度決算見通	増減
				0
広告料収入	高等学校南北選手権TV放映協賛金他		5,905,600	5,905,600
				0
				0
				0
				0
収入合計			5,905,600	5,905,600

科目	内訳	27年度予算	27年度決算見通	増減
高校南北選手権TV放映			2,893,779	2,893,779
支払合計			2,893,779	2,893,779
単年度収支			3,011,821	3,011,821
前期繰越金			0	0
次期繰越金			3,011,821	3,011,821

会　計　監　査　報　告　書

北海道ラグビーフットボール協会　平成 27 年度の収支決算について、平成 28 年 4 月 9 日、会計担当理事ならびに理事長、副理事長の立会いのもとに会計監査を実施しましたので、次のとおり報告します。

1.　監査方法の概要

会計監査にあたり、帳簿と領収書綴り、各事業計画書および収支予算書と各事業報告書および収支決算書、ならびに預貯金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて立会い理事に説明を求めて調査致しました。

2.　監査結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理内容は全て適正であり、平成 27 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 28 年 4 月 9 日

会計監事　　山之内　裕昭

会計監事　　長谷部　直樹